本文

許可 7137 号

官報（日刊）第七一三七號　明治四十年四月十八日（明治二十五年第三種郵便物認可）

官報

第七千百三十七號

明治四十年四月十八日　木曜日　印刷局

○勅令

朕臺灣總督府鐵道部官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月十七日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望
内務大臣　原敬

勅令第百十七號

臺灣總督府鐵道部官制中左ノ通改正ス

第二條中「二百三十八」ヲ「三百十九人」ニ「七十人」ヲ「七十七人」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第百十八號

臺灣總督府海港檢疫所官制中左ノ通改正ス

第三條第一項中海港檢疫醫官補ノ下「一人」ヲ「二人」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕臺灣總督府海港檢疫所官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月十七日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望
内務大臣　原敬

勅令第百十九號

臺灣總督府警察官及司獄官練習所官制中左ノ通改正ス

第五條中「五人」ヲ「七人」ニ改ム

第七條中「四人」ヲ「五人」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕臺灣總督府警察官及司獄官練習所官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月十七日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望
内務大臣　原敬

朕臨時臺灣基隆築港局官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月十七日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

內務大臣　原敬

勅令第百二十號

臨時臺灣基隆築港局官制中左ノ通改正ス

第二條中「專任一人」ヲ「專任二人」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕臨時臺灣糖務局官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月十七日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

內務大臣　原敬

勅令第百二十一號

臨時臺灣糖務局官制中左ノ通改正ス

第二條中「專任四人」ヲ「專任六人」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕埤圳改良ノ事務ニ從事スル職員ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月十七日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

內務大臣　原敬

勅令第百二十二號

埤圳改良ノ事務ニ從事セシムル爲臺灣總督府ニ臨時屬專任八人ヲ置ク

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕港務部高等官俸給令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月十七日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

內務大臣　原敬

勅令第百二十三號

港務部高等官俸給令中左ノ通改正ス

第一條　港務長及港務官ノ年俸ハ左表ニ依ル

等級 / 官名	一級	二級	三級	四級	五級	六級
港務長	千八百圓	千六百圓	千四百圓	千二百圓		
港務官	千六百圓	千四百圓	千二百圓	千圓	九百圓	八百圓

港務醫官及港務獸醫官ノ年俸ハ技術官俸給令ニ依ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際別ニ辭令書ヲ交付セラレサル者ハ現ニ受クル俸給額ニ相當スル等級俸ヲ受クルモノトス

朕樺太廳巡査ノ在勤手當、給與品及貸與品ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月十七日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

內務大臣　原敬

勅令第百二十四號

第一條　樺太廳巡査ニハ月額二十圓以內ノ在勤手當ヲ支給ス

第二條　樺太廳巡査ノ給與品及貸與品ニ關シ特別ノ規定ヲ設クル必要アルトキハ內務大臣ノ認可ヲ得テ樺太廳長官之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ明治四十年四月分ヨリ之ヲ適用ス

○訓令

文部省訓令第七號

北海道廳　府縣

明治二十年文部省訓令第四號、明治二十二年文部省訓令第四號、明治二十四年文部省訓令第七號、明治二十五年文部省訓令第六號ハ明治四十一年三月三十一日限リ之ヲ廢止ス

明治四十年四月十八日

文部大臣　牧野伸顯

農商務省訓令第六號

道廳　府縣

鮑及海鼠ハ共ニ重要水產物ニ屬シ其ノ製品ハ乾鮑罐詰鮑及海參トナシ清國ニ輸出セリ然ルニ其ノ形體ハ漸次細小トナリ其ノ生產額ハ逐年減少ノ趨勢ニ在リ故ニ其ノ種族ノ蕃殖ヲ保護シ生產ノ增進ヲ圖ルハ水產經濟上ノ要務タリ從來各地方ニ於テハ漁業法ノ規定ニ基キ採捕ノ寸尺又ハ漁具漁法漁期ノ制限禁止ノ制ヲ設ケ以テ蕃殖保護ノ取締ヲ爲スアリト雖モ現ニ開港場ニ就キ右等商品ヲ見ルニ往々細小ノモノニシテ到底禁止制限ノ範圍ニ屬スルモノヨリ製造シタリト認ムヘカラサルモノアリ元來鮑海鼠ノ如キハ磯付生物ニ屬スルヲ以テ酷捕濫獲ニ放任センカ其ノ種族ヲ絕滅シ重要ノ輸出品ヲ失フニ至ルヤ計リ知ルヘカラス且罐詰鮑ノ若キハ啻ニ罐內ニ小形ノモノヲ塡充スルノミナラス其ノ容量ヲ一定セサルカ爲メ貿易市場ノ信用ヲ毀損シ需要ヲ減殺スルモノ亦尠カラス故ニ斯ノ如キ弊害ヲ除去センニハ製品ノ檢査ヲ爲シ最小形製品ノ賣買ヲ禁止スルコトヲ要ス仍テ左ニ例示セル標準ニ據リ取締規則ヲ設ケ又ハ水產組合ヲシテ製品ノ檢査ヲ行ハシメ以テ蕃殖保護ノ目的ヲ達スルト同時ニ商品信用ノ維持ヲ圖リ永遠ノ利益ヲ擧クルコトヲ期スヘシ

明治四十年四月十八日

農商務大臣　松岡康毅

一　乾鮑及罐詰鮑

捕獲制限寸尺	製品種類	最小形重量（一箇ニ付）
殼長二寸五分	明鮑	二匁
	灰鮑（臟腑付）	二匁六分
	同（臟腑拔）	二匁二分
	罐詰鮑	五匁
殼長三寸	明鮑	三匁
	灰鮑（臟腑付）	三匁五分

捕獲制限寸尺	製品種類	最小形重量（一箇ニ付）
	同（臟腑拔）	三匁二分
	罐詰鮑	七匁五分
殼長三寸五分	明鮑	五匁
	灰鮑（臟腑付）	七匁五分
	同（臟腑拔）	五匁五分
	罐詰鮑	十匁五分

但シ殼長ノ制限ヲ設ケサル地方ニ於テハ其ノ實況ニ應シ適宜之ヲ規定スルコトヲ要ス、罐詰鮑ハ一封度罐ノ內容肉量六十匁以上タルヲ要ス

二　海參

捕獲制限寸尺	最小形箇數（一斤ニ付）
體長五寸（三重縣）	五十箇
體長八寸五分（長崎縣）	四十箇

捕獲制限寸尺	最小形箇數（一斤ニ付）
體長七寸五分（北海道）	四十三箇

但シ海鼠ハ三歲兒以上タルヲ要ス而シテ其ノ成長發育ハ地方ニ依リ異同アルヲ以テ實際調査ノ上體長ノ制限ヲ規定スヘシ

○告示

文部省告示第百二十三號

町立熱田高等女學校ヲ愛知縣愛知郡熱田町大字田中ニ設置シ明治四十年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十年四月十八日

文部大臣　牧野伸顯

第7137号　本文

第7137号 本文

文部省告示第百二十四號

西伯郡立西伯高等女學校ヲ鳥取縣西伯郡米子町大字仲町ニ設置シ明治四十年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十年四月十八日 文部大臣 牧野伸顯

文部省告示第百二十五號

京都府立第五中學校ヲ京都府葛野郡花園村及衣笠村ニ設置シ明治四十一年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十年四月十八日 文部大臣 牧野伸顯

農商務省告示第七十六號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十年四月十八日 農商務大臣 松岡康毅

國	郡	町村	大字	字	地番	段別	所有者
常陸	行方	秋津	青柳	宮山	一、三五五	一、〇九一三	國
同	那珂	湊町		富士山	二	、一四一三	同
同	同			同	四	、一〇〇二	同
同	鹿島	諏訪	勝下	玉澤	九七三	、〇七一一	同
同	筑波	筑波	筑波	宮脇	七三四	、五二〇二	同
同	同	同	同	同	七、二一五	、〇五一七	同

農商務省告示第七十七號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ通保安林ニ編入ス

明治四十年四月十八日 農商務大臣 松岡康毅

國	郡	町村	大字	字	地番	地目	面積	所有者
伊勢	多氣	下御絲	川尻	浦山	五九八ノ一	山林	一、八九一一	藤堂安雄外一人
同	同	同	同	同	五九八ノ一〇二	同	、六四一三	淺沼常吉
同	同	同	同	同	五九八ノ一〇三	同	、二五二四	奥田利吉外三人
同	同	同	同	同	五九八ノ一〇四	同	一、三三一九	藤堂竈丸外一人
同	同	同	同	同	五九八ノ一〇五	同	一、六一〇二	淺沼常吉
同	同	同	同	同	五九八ノ一〇六	同	一、六三二七	奥田利吉
同	同	同	同	同	五九八ノ一五一	同	一、〇三一二	黒宮宗吉
同	同	同	同	同	五九八ノ二五	同	、一八二二	東黒部村
同	同	同	同	同	五九八ノ一一七	同	、〇六一二	淺沼常吉
同	同	同	同	同	五九八ノ一二二	同	、三五〇〇	山西庄左衛門
同	同	同	同	同	五九八ノ一二三	同	、一七〇〇	淺沼常吉
同	同	同	同	同	五九八ノ一一六	同	、二〇〇〇	藤堂安雄外一人
同	同	同	同	同	五九八ノ一三七	同	、二〇〇〇	奥田利吉
同	同	同	同	同	五九八ノ一三六	同	、二〇〇〇	淺沼常吉
同	同	同	同	同	五九八ノ一四三	同	、五〇〇〇	淺沼常吉外三人
同	同	同	同	同	五九八ノ一四五	同	、一〇〇〇	藤堂安雄外一人
紀井	南牟婁	北輪内	盛松浦	エビレ	二九四ノ三	同	二、九九一三	北輪内村盛松浦
同	同	南輪内	梶賀浦	黒月ノ口	一ノ二	同	四、一四〇六	南輪内村梶賀浦
同	同	同	同	小梶賀	三五三ノ四	同	一三、一四〇八	同
同	同	同	曾根浦	カエラ治郎	一ノ三	同	八、三八一〇	同村曾根浦

農商務省告示第七十八號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十年四月十八日 農商務大臣 松岡康毅

國	郡	町村	大字	字	地番	面積	所有者
伊勢	鈴鹿	萱生	下庄	宮ノ谷	二、五三九	、〇一二〇	國
同	一志	豐田	權現前	神北	四二二ノ一	、一七〇〇	同
同	三重	千種	千草	北川	四、七九〇	、〇三一四	山神社
同	同	同	同	東浦	三、二四九	、〇〇一二	同
同	同	同	同	同	三、二五一	、〇一一八	同
同	同	同	潤田	土山	一、七二九	、〇二二五	同
同	同	同	同	同	一、七三一	、〇一一七	同
同	同	河原田	河原田	里南	二、四六五	、〇六〇五	淺間神社
同	同	同	同	三神山	三、一〇四	、〇六〇九	須賀神社
同	同	三重	東坂部	城	四八九	、〇一一二	山神社
同	同	同	同	久々見	一、八二二	、〇四〇三	同
同	同	同	西坂部	一ノ谷	一、〇九一	、〇一二五	同
同	同	同	同	護摩田	三、八六〇	、〇八一〇	同
同	同	同	同	墓堀	四、〇三二	、〇一一四	同
同	同	川島	川島	白山	一、五二〇	、〇一一四	同
同	同	羽津	―	天神東	一、一一六ノ一	、〇八二八	同
同	同	同	―	同	一、一一六ノ二	、〇五〇一	同
同	同	同	―	大門	五七八	、四七一一	荒神社
同	同	同	―	北岡山	一	、三九〇九	愛宕神社
同	同	同	―	城山	一、九六三	、〇四一一	山神社
同	同	保々	中野	山條	一、二四七	、〇五一六	同
同	同	同	同	一色	九五八	、〇六一〇	同
同	同	同	小牧	道具林	二、六三二	、〇二一一	同
同	同	同	同	若宮	六六三	、六三一九	稻荷神社
同	同	同	同	同	六五八	、〇五二〇	山神社
同	同	同	同	千栗	九四四	、〇一〇六	同
同	同	同	市場	分田	一、二四〇	、〇七一七	同
同	同	同	同	留山	一五	、〇三〇九	恵比須神社
同	同	縣	江村	山神戸	一一四一〇九	、四〇二七	須賀神社
同	同	河原田	河原田	宮ノ谷	二、九七二	、一二二七	八幡神社
同	同	同	同	同	二、八四八	、五三三三	宇氣比神社
同	同	朝上	榊	村東	九一八	、二一二三	八坂神社
同	同	同	同	同	九一九	、一八〇六	同
同	同	縣	下海老原	大坪	一、一七九	、四一一五	八幡社
同	同	內部	波木	宮山	八一九 八一八 八二三	一、五五一二	加富神社
同	同	同	北小松	高添	二	、一一一八	小松神社

國	郡	町村	大字	字	地番	面積	所有者
同	同	同	同	井口	四八六 四八八	、〇三二四	山神社
同	同	同	小古曾	五百山	二、八三八	、〇五二八	八幡神社
同	同	同	同	中堀	一、三六八	、三四一一	小許曾神社
同	同	同	同	米田	八九二	、〇〇二一	米田神社
同	同	同	同	白山	二〇五 二〇七	、〇一二二	川原崎社
同	同	同	同	山條	二、一〇四	、〇三二〇	山神社
同	同	同	同	同	二、一一九 二、一二一	、〇二一八	鈴森社
同	同	同	采女	小藪	一七二 一七四	、〇二一〇	山神社
同	同	朝上	杉谷	不二澤	一、六三三	一、一七一五	同
同	同	內部	采女	宮ノ上	二、三二三	一、一六〇〇	采女八幡社
同	同	朝上	切畑	清水	五八〇	、三八二一	依留太神社
同	同	同	同	同	五八四	、〇二二〇	山神社
同	同	同	同	同	五七七	、〇二一六	天神社
同	同	小山田	山田	小山崎	六、四二九	、四五二六	國
同	同	同	同	内戸谷	六、三六〇	、五五一二	同
同	同	同	同	吉田ケ原	二、〇八八	、〇一二〇	同
同	同	保々	市場	大屋敷	一、九七二	、〇三二四	同
同	同	同	同	野呂田	一、八九二 一、八九〇	、〇二一六	同
同	同	同	同	竹千代	一、七八二 一、七八三 一、七八五 一、七八六	一、一二〇六	殖栗神社
同	同	鵜川原	大強原	西川原	一、二八四	、〇七〇五	山神社
同	員辨	十社	鹽崎	小山	二四〇	、〇三二〇	水神社
同	同	同	同	出前	八四二	、〇七〇三	山神社
同	同	同	同	同	一、一一一 一、〇九六	、〇四〇〇	同
同	同	同	二ノ瀬	上野	一七〇	、〇二二五	同
同	同	同	同	村内	九四七	、〇八〇七	同
同	同	東藤原	下野尻	山ノ田	一、四〇三	、〇〇二五	國
同	同	南石加	石榑南	忠内	二、〇一八	、一二二四	同
同	同	北石加	石榑北山	教正垣内	七二三	、二八〇六	同
同	同	治田	麓	ハラ門	四二	、〇八〇一	同
同	一志	大井	井関	若水	一	、一一一三	同
伊賀	阿山	府中	佐那具	澤	一、五七三	、〇四〇四	同
同	名賀	神戸	比土	山下	六九五	、〇一一五	同
伊勢	一志	下ノ川	下ノ川	戸水	三、二七九ノ一 三、二八〇	、一五〇一	八幡神社
同	度會	北濱	東大淀	東山	八三	、二二二ノ内 、一〇〇三	中谷喜三右衛門
同	同	同	同	同	八四	、二九〇〇ノ内 、二二一九	西村安十郎
同	河藝	上野	千里	眞倉外二	八五四 一外三	六、〇〇〇〇	國
紀伊	北牟婁	九鬼	早田浦	松尾ノ森	二ノ一	一、一一二六	吉野常太郎
同	南牟婁	泊	大泊	寺道	一	、二九〇九	芝神社
同	同	新鹿	遊木浦	宮	四ノ一	、〇五一六	遊木神社
伊勢	員辨	白瀬	市場	北藪	七九七	、五三二六	野之宮神社

國	郡	町村	大字	字	地番	面積	所有者
同	同	大長	長深	屋敷	一七九	、〇三〇七	多度神社
同	同	同	同	西守	二、六二七	、二四〇一	八坂神社
同	同	中里	下相場	戸原	一九五	、四四二四	山神社
同	鈴鹿	深伊澤	長澤	北能褒野	二、二〇二	四、八一〇二	武備神社
同	同	白川	鷲山	起シ	四七	、〇七〇〇	鷲山神社
同	同	高津瀬	津賀	高神山	一、七〇〇外六	五、七〇〇五	觀音寺
同	同	深伊澤	深溝	村山	二、七七九	、三〇二三	水神社
同	三重	縣	平尾	東屋敷	一一八	、六〇〇一	平安寺
同	同	神前	寺方	北浦	一、四九四	、〇四二〇	山神社
同	同	狹野	宿野	稻荷山	一、四三二	二、二九二五	稻荷神社
同	同	神前	寺方	山ノ瀬古	一四七	、〇九一四	大日寺
同	同	狹野	宿野	山神戸	一、六四九	、七三一二	山神社
同	河藝	一ノ宮	高岡	山王谷	二、三〇六	、三五二五	醫王寺
同	同	同	南長太	鎗添	一、九八六	、〇四〇〇	心造寺
同	同	同	同	同	一、九八七	、〇四〇五	同
伊賀	阿山	東柘植	中柘植	栃狹	九六五	、一三一四	白山神社
伊勢	一志	伊勢地	石名原	堂垣内	一、七一八	、一四一八	八幡神社
同	安濃	草生	中川	松野	三九三	、三七一三	須賀神社
同	多氣	下御絲	川尻	浦山	六四一	、二九〇四	丸林文八郎
同	同	同	同	同	六四四	、〇七〇一	同
同	同	同	同	同	六四五	、〇六〇九	同
同	同	同	同	同	六四六	、一一二一	同
同	同	同	同	同	五九八ノ一〇八	一〇、一五一二	同
伊賀	阿山	東柘植	中柘植	宮谷	一、二七〇	、〇九〇八	津島神社 苗神社
伊勢	三重	常盤	松本	建正山	一、六三二	、三九〇八	松井須賀神社
同	同	羽津	―	大谷	七五八	一、七〇一三	松永兵三郎
同	同	鵜川原	吉澤	古宮	八七八	、八〇二六	吉澤神社
伊賀	阿山	東柘植	野村	中之屋敷	一六五	、〇五一九	津島神社 神明神社
志摩	志摩	御座	―	ツバ井戸	一三三	、二八〇〇	御座村
伊勢	員辨	丹生川	片樋	中垣内	一、四八九	、七〇〇〇ノ内 、四〇二二	大神社
同	同	稻部	六木	猿井場	一、三八八	二、二二一〇ノ内 二、〇〇〇〇	熊野社
同	三重	水澤	水澤	足見田	七六八	二、八七二八ノ内 一、四七二一	諏訪社

遞信省告示第二百五十七號

明治三十七年六月遞信省告示第三百十七號外國電報料金表第二表(China)(清國地方)ノ部 Fohkien(福建省)ノ項中左ノ通改ム

明治四十年四月十八日 遞信大臣 山縣伊三郎

Santu or Santuao(三都)(Via land line from Amoy or from Foochow)(厦門又ハ福州ヨリ陸線經過)	一	一・一四

遞信省告示第二百五十八號
明治三十七年六月遞信省告示第三百十八號外國新聞電報料金表第一表「Asia（亞細亞地方）」ノ部 China（淸國）ノ項中左ノ通改ム
Santu or Santuao（三都）（Via land line from Amoy or from Foochow）（厦門又ハ福州ヨリ陸線經過）　〇・四八〇
明治四十年四月十八日　遞信大臣　山縣伊三郎

遞信省告示第二百五十九號
明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
明治四十年四月十八日　遞信大臣　山縣伊三郎

名稱	位置
神ノ浦郵便局	長崎縣西彼杵郡神浦村

正誤
昨十七日遞信省告示第二百五十六號中「Ceilia」ハ「Cecilia」ノ誤　遞信省參事官
同日文部省令第十二號第二十七條甲號表中圖畫、手工欄內ノ括弧ハ除クヘキ　同第六十四條中依テハ於テ、同訓令第六號十一行教員ハ教育ノ孰モ誤植

〇敍任及辭令

〇明治四十年四月十七日
任煙草專賣局主事兼大藏書記官　大藏書記官兼大藏大臣祕書官馬政局書記官從六位　兼馬政局書記官如故　森　賢吾
敍高等官五等
任東京高等師範學校敎授　廣島高等師範學校敎授正七位　中村久四郎
敍高等官六等
任岡山醫學專門學校敎授　陸軍二等軍醫從七位勳六等　片山　誠治
敍高等官六等
任大阪高等工業學校敎授　大阪高等工業學校助敎授　西脇　安吉
敍高等官八等
任廣島高等師範學校敎授　三宅少太郎
敍高等官七等
任廣島高等師範學校敎授　菱沼　平治
敍高等官七等
任廣島高等師範學校敎諭　野上　源造
敍高等官八等
任廣島高等師範學校敎諭　廣島高等師範學校助敎授兼廣島高等師範學校敎諭　岡井　愼吾
敍高等官八等
兼任廣島高等師範學校敎諭　廣島高等師範學校助敎授　原　貫之助
敍高等官八等

兼任遞信技師　臨時鐵道國有準備局技師兼帝國鐵道廳技師從七位　眞柳　重俊
敍高等官七等
兼任遞信技師　臨時鐵道國有準備局技師兼帝國鐵道廳技師從七位　村上兵太郎
敍高等官七等
任統監府財政監査官　大藏屬　河內山樂三
敍高等官七等
任統監府財政監査官　大藏屬　吉松　憲郎
敍高等官七等
任統監府財政監査官　煙草專賣局書記　櫻井　小一
敍高等官七等
任統監府財政監査官　臨時國債整理局屬　菅田　勇
敍高等官七等
任關東都督府通信技師　通信技手正八位　手塚彌太郎
敍高等官七等
陞敍高等官五等　奈良縣技師正七位　井田　鎣吉
陞敍高等官五等　長野縣南安曇郡長正七位勳六等　黑川　光德
陞敍高等官六等　宮城縣技師從七位　河田勝三郎
陞敍高等官六等　長野縣技師從七位　渡邊　義武
陞敍高等官六等　巖手縣九戶郡長從七位　澤田　專吉
任佐賀縣小城郡長　佐賀縣三養基郡長正七位　荻原善太郎
敍高等官六等
任佐賀縣三養基郡長　佐賀縣屬　福地　由廉
敍高等官七等
千葉縣立大多喜中學校長ニ任ス　從七位　青木　義敎
吳市立高等女學校長兼吳市立高等女學校敎諭ニ任ス　從七位　横田　正意
岡山縣勝田郡英田郡組合立農林學校長兼岡山縣勝田郡英田郡組合立農林學校敎諭ニ任ス　從七位　田中　正夫
石川縣立工業學校敎諭ニ任ス　新潟縣立十日町染織學校敎諭正八位　友成源七郎
北海道廳林業技師ニ任ス　北海道廳林業技手　下山　傳藏

免本官專任大藏書記官　煙草專賣局主事兼大藏書記官　長島　隆二
依願免本官　煙草專賣局主事補　宇野　哲夫
（各通）　正五位勳六等醫學博士　宇野　朗
日本藥局方調査會委員被仰付　衞生試驗所技師　西崎弘太郎
（各通）　鑛山監督署技師　前田　精明
依願免本官　山林技師　水島鉉四郎

依願免本官並兼官　遞信技師兼臨時鐵道國有準備局技師　渡邊信四郎
（各通）　臨時鐵道國有準備局技師兼遞信技師　西　大助
任遞信技師兼臨時鐵道國有準備局技師　臨時鐵道國有準備局技師兼遞信技師　佐橋　重恭
（各通）　關東都督府通信事務官補　永井新三郎
依願免本官（以上四月十七日內閣）　北海道廳支廳長　園田　雄吉
依願北白川宮家務監督被免　正三位男爵　松平　正直
常宮周宮御用掛兼勤被仰付　東宮職御用掛　幸田　延
常宮周宮御用掛被免（以上四月十七日宮內省）　學習院敎授　納所辨次郎
四級俸下賜　國幣中社大山祇神社宮司　三島　敦雄
　德島縣三好郡長　野上　伯孝
明治三十九年十月縣參事會ノ議決ヲ要スヘキ郡內井川村縣稅戶數割等差及標準ヲ郡參事會ニ附議シ且ツ之カ爲ニ時日ヲ遷延シ該稅徵收ノ期限ヲ變更スルニ至ラシメタルハ職務上不注意ノ致ス所ナリトス仍テ文官懲戒令ニ依リ譴責ス（以上四月十七日內務省）
二級俸下賜　煙草專賣局主事　森　賢吾
七級俸下賜　大藏書記官　長島　隆二
理財局銀行課長ヲ免ス　大藏書記官　森　賢吾
理財局銀行課長ヲ命ス　大藏書記官　二宮　基成
理財局庶務課長兼務ヲ命ス　大藏書記官　長島　隆二
臨時國債整理局第一課長兼第二課長ヲ命ス（以上四月十七日大藏省）　臨時國債整理局書記官　松本　修
高知縣幡多郡小筑紫村大字小筑紫五十四番屋敷　山岡光之助
故陸軍步兵伍長山岡米吉明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金六百拾圓ヲ賜フ
新潟縣中蒲原郡小林村大字戶頭三十一番戶　田邊　ヨイ
故傭人田邊春松明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百參拾圓ヲ賜フ
東京市麴町區飯田町三丁目十三番地　浦中　めつ
故傭人浦中彌八明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百參拾圓ヲ賜フ
山形縣最上郡八向村大字本合海九十六番地　八向　齋
故陸軍騎兵上等兵八向恒次明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百六拾圓ヲ賜フ
山形縣東田川郡黑川村大字黑川字大瀧前八十三番地　遠藤　文吉
故陸軍步兵一等卒遠藤三藏明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百四拾圓ヲ賜フ
奈良縣磯城郡初瀨町大字初瀨三百十番屋敷　中村　つね
故陸軍輜重輸卒中村幸治郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ
大分縣北海部郡上南津留村大字高山三百四十七番地　卯薄　ヒナ
故陸軍輜重輸卒卯薄悅治明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ（以上四月十六日陸軍省）

步兵第十一聯隊附被免　陸軍步兵大尉　深見　盛藤
補臺灣守備步兵第四大隊中隊長　陸軍步兵大尉　深見　盛藤
（各通）　步兵第六十三聯隊大隊副官陸軍步兵大尉　園田　元助
免本職補步兵第六十三聯隊中隊長　步兵第六十三聯隊大隊副官陸軍步兵大尉　早坂德四郎
（各通）　步兵第六十三聯隊附陸軍步兵中尉　武居　重治
免本職補步兵第六十三聯隊大隊副官　步兵第六十三聯隊附陸軍步兵中尉　千綿　英一
免本職補步兵第七聯隊附　第九師團經理部員陸軍三等主計　佐藤　數馬
免本職步兵第七聯隊附被仰付　步兵第七聯隊附陸軍三等主計　佐々木仲藏
第九師團經理部附被免　陸軍二等主計　八野井　透
補第九師團經理部部員　陸軍二等主計　八野井　透
免本職補第九師團經理部部員　步兵第十九聯隊附陸軍三等主計　加賀　幸治
補步兵第十九聯隊附　陸軍三等主計　天野橙次郎
免本職第九師團經理部附被仰付　第九師團經理部員陸軍三等主計　佐久　與一
第十二師團經理部附被免小倉衞戍病院附被仰付　陸軍三等主計　山田淸太郎
第十二師團經理部附被免下關要塞砲兵聯隊附被仰付　陸軍三等主計　伊東新之丞
第三師團經理部附被免　陸軍三等主計　水谷國之助
補第三師團經理部部員　陸軍三等主計　水谷國之助
（各通）
姬路衞戍病院附陸軍二等軍醫　藤井　春喜
横須賀衞戍病院附陸軍二等藥劑官　石橋　正寶
姬路衞戍病院附陸軍二等藥劑官　小笠原悅三
鱗江衞戍病院附陸軍三等藥劑官　石野　正久
免本職
東京第一衞戍病院附被免　陸軍二等軍醫　吉村忻一郎
名古屋衞戍病院附被免　陸軍二等軍醫　關本國太郎
廣島衞戍病院附被免　陸軍二等軍醫　高尾　朔二
旭川衞戍病院附被免　陸軍二等軍醫　成瀨　孝三
陸軍衞生材料廠廠員被免　陸軍二等藥劑官　森田　尙
廣島衞戍病院附被免　陸軍二等藥劑官　三好　慶吾
小倉衞戍病院附被免　陸軍二等藥劑官　尾渡　力
陸軍衞生材料廠廠員被免　陸軍二等藥劑官　木口　灑藏
補横須賀衞戍病院附　陸軍二等藥劑官　木口　灑藏
免本職補鱗江衞戍病院附　青森衞戍病院附陸軍一等藥劑官　高島初四郎
補姬路衞戍病院附　陸軍三等藥劑官　天川　勇
（各通）　輜重兵第二大隊附陸軍輜重兵大尉　內藤　政眞
休職被仰付（以上四月十七日同）　東京灣要塞砲兵聯隊附陸軍砲兵少尉　桐山　壽

第7137号　本文

（各通）
豫備判事ヲ命ス
豫備檢事ヲ命ス
豫備判事ヲ命ス
（各通）
豫備檢事ヲ命ス
豫備判事ヲ命ス
豫備檢事ヲ命ス
（各通）
豫備判事ヲ命ス
豫備檢事ヲ命ス
（各通）
豫備判事ヲ命ス
豫備檢事ヲ命ス
（各通）
豫備判事ヲ命ス
豫備檢事ヲ命ス
豫備判事ヲ命ス
豫備檢事ヲ命ス
豫備判事ヲ命ス

判事　宮本　英脩
判事　三島恆三郎
判事　木付功二郎
判事　野口三四郎
檢事　野崎辰治郎
判事　大原　敏三
檢事　深澤新一郎
檢事　河村　靜水
判事　福間　千市
檢事　小幡　豐治
判事　植月　愛明
判事　村野　美雄
判事　山本　福丸
判事　西岡　國吉
判事　恩地　正文
判事　岩本勇次郎
判事　住谷　耕作
判事　島田　宗謙
檢事　浦川　忠藏
判事　小田切協三
判事　室木彌次郎
判事　桐山　誠一
判事　生田友次郎
判事　眞野歡三郎
判事　宮本伊之助
檢事　兒玉　孝顯
判事　勝田　安次
判事　松島　得男
判事　永田　三郎
檢事　宮澤　察
判事　野口　修三
檢事　佐藤善十郎
判事　福田　五郎
豫備判事　宮本　英脩
豫備判事　三島恆三郎
豫備判事　木付功二郎
豫備判事　野口三四郎
豫備檢事　野崎辰治郎

（各通）

年俸五百圓下賜
東京地方裁判所詰ヲ命ス
德島地方裁判所詰ヲ命ス
京都地方裁判所詰ヲ命ス
浦和地方裁判所詰ヲ命ス
大津地方裁判所檢事局詰ヲ命ス
廣島地方裁判所詰ヲ命ス
橫濱地方裁判所檢事局詰ヲ命ス
京都地方裁判所檢事局詰ヲ命ス
京都地方裁判所詰ヲ命ス
千葉地方裁判所檢事局詰ヲ命ス
京都地方裁判所詰ヲ命ス
大阪地方裁判所詰ヲ命ス
大津地方裁判所詰ヲ命ス

豫備判事　大原　敏三
豫備檢事　深澤新一郎
豫備檢事　河村　靜水
豫備判事　福間　千市
豫備檢事　小幡　豐治
豫備判事　植月　愛明
豫備判事　村野　美雄
豫備判事　山本　福丸
豫備判事　西岡　國吉
豫備判事　恩地　正文
豫備判事　岩本勇次郎
豫備判事　住谷　耕作
豫備判事　島田　宗謙
豫備檢事　浦川　忠藏
豫備判事　小田切協三
豫備判事　室木彌次郎
豫備判事　桐山　誠一
豫備判事　生田友次郎
豫備判事　眞野歡三郎
豫備判事　宮本伊之助
豫備檢事　兒玉　孝顯
豫備判事　勝田　安次
豫備判事　松島　得男
豫備判事　永田　三郎
豫備檢事　宮澤　察
豫備判事　野口　修三
豫備檢事　佐藤善十郎
豫備判事　福田　五郎
豫備判事　宮本　英脩
豫備判事　三島恆三郎
豫備判事　木付功二郎
豫備判事　野口三四郎
豫備檢事　野崎辰治郎
豫備判事　大原　敏三
豫備檢事　深澤新一郎
豫備檢事　河村　靜水
豫備判事　福間　千市
豫備檢事　小幡　豐治
豫備判事　植月　愛明
豫備判事　村野　美雄
豫備判事　山本　福丸

（各通）
京都地方裁判所詰ヲ命ス
東京地方裁判所詰ヲ命ス
浦和地方裁判所詰ヲ命ス
橫濱地方裁判所詰ヲ命ス
靜岡地方裁判所檢事局詰ヲ命ス
仙臺地方裁判所詰ヲ命ス
大阪地方裁判所詰ヲ命ス
岡山地方裁判所詰ヲ命ス
京都地方裁判所詰ヲ命ス
東京地方裁判所詰ヲ命ス
松江地方裁判所詰ヲ命ス
東京區裁判所檢事局詰ヲ命ス
東京地方裁判所詰ヲ命ス
安濃津地方裁判所詰ヲ命ス
熊谷區裁判所詰ヲ命ス
名古屋地方裁判所檢事局詰ヲ命ス
東京地方裁判所詰ヲ命ス
前橋地方裁判所檢事局詰ヲ命ス
福岡地方裁判所詰ヲ命ス（以上四月十六日　司法省）
四級俸下賜
十級俸下賜
出京ヲ命ス（以上四月十六日　文部省）
三級俸下賜
高知大林區署在勤ヲ命ス
高知大林區署經理課長ヲ命ス
東京大林區署在勤ヲ命ス
東京大林區署經理課長ヲ命ス
東京大林區署經理課長兼務ヲ免ス（以上四月十六日　農商務省）
第九回關西府縣聯合共進會出品特許品審查官トシテ三重縣ニ出張ヲ命ス
（四月十七日　同）
（各通）
外國留學中本俸三分ノ一下賜（四月十一日　遞信省）
臨機橫濱ヘ出張ヲ命ス（四月十三日　同）
帝國鐵道廳米子出張所保線掛長兼務ヲ命ス
當分ノ內通信局工務課勤務ヲ命ス
愛媛縣下ヘ出張ヲ命ス（以上四月十六日　同）
（各通）
出京ヲ命ス

豫備判事　西岡　國吉
豫備判事　恩地　正文
豫備判事　岩本勇次郎
豫備判事　住谷　耕作
豫備判事　島田　宗謙
豫備檢事　浦川　忠藏
豫備判事　小田切協三
豫備判事　室木彌次郎
豫備判事　桐山　誠一
豫備判事　生田友次郎
豫備判事　眞野歡三郎
豫備判事　宮本伊之助
豫備檢事　兒玉　孝顯
豫備判事　勝田　安次
豫備判事　松島　得男
豫備判事　永田　三郎
豫備檢事　宮澤　察
豫備判事　野口　修三
豫備檢事　佐藤善十郎
豫備判事　福田　五郎
東京盲啞學校長　小西　信八
東京美術學校教授　白濱　徵
神戶高等商業學校長　水島　鐵也
林務官　片山　三郎
林務官　片山　三郎
林務官　片山　三郎
林務官　竹內金太郎
林務官　竹內金太郎
山林事務官　荒木　大藏
特許局審查官　山越　八郎
帝國鐵道廳技師　靑山　與一
帝國鐵道廳技師　木下　淑夫
遞信技師　佐伯美津留
帝國鐵道廳技師　負他　倍造
遞信技師　神田　選吉
海事局技師　城　與三郎
一等郵便局長　武井　友貞
通信技師　山田勇次郎

留學期間三箇月ヲ延期シ英國ヘ轉學ヲ命ス（以上四月十七日　同）
通信事務官　田中　次郎
關東都督府通信事務官補　有田亥之吉
文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス（四月九日　關東都督府）
山形縣立山形中學校教諭　佐藤利兵衞
十級俸ニ當分七百二十圓下賜（四月十日　山形縣）
岡山縣勝田郡英田郡組合立農林學校教諭　渡邊　汀
十級俸下賜（四月十日　岡山縣）

○宮廷錄事

○御沙汰　本月二十六日海軍機關學校生徒卒業證書授與式執行ニ付キ依仁親王殿下ヲ差遣サル、旨御沙汰アラセラレタリ

○謁見　本邦駐箚墨西其合衆國特命全權公使カールロス、アメリコ、レーラ解任狀捧呈ノタメ昨十七日午前十時三十分參內ニ付キ迎引トシテ式部官伯爵前田利同宮中ヨリ差向ケラレタル馬車ニテ同公使館ニ行向ヒ公使同乘參內ス御車寄階上ニハ式部官出迎ヘ控所ニ誘引同所ニ於テ林外務大臣、戶田式部長之ニ面接シ其ヨリ公使ハ戶田式部長ノ誘導ニ依リ鳳凰ノ間ニ進ミ　天皇陛下ニ謁見解任狀ヲ捧呈セリ

○皇族發著　載仁親王殿下ハ群馬縣高崎ヘ御出張ノ處一昨十六日御歸京アラセラレタリ

○彙報

○官廳事項

○休務　宮內省ニ於テハ來ル五月三日靖國神社臨時大祭ニ付キ休務ノ旨省中一般ヘ達シタリ

○遞信省第二十年報摘要（本月十三日ノ續）

官設鐵道

工事ノ狀況　本年度ニ於ケル官設鐵道建設事業ノ狀況ハ奧羽線中院內湯澤間及大曲湯澤間ハ前年度中未成ノ部分全ク竣工ヲ告ケ茲ニ全線開通スルニ至レリ而シテ開通後ハ主トシテ急施ヲ要セサリシ各停車場內ノ諸設備及線路ニ於ケル建造物等ノ工事ヲ施行セリ中央線中富士見岡谷間ハ全ク竣工シ岡谷鹽尻間モ停車場ニ於ケル建物工事ノ一部分ヲ除クノ外概ネ竣工シタルニ依リ篠ノ井線ト連絡ヲ爲スモ當ニ遠キニアラサルヘシ又陰陽線中松崎靑谷間ハ前年度中未成ノ部分全ク竣工ヲ告ケタリ而シテ北海道線ハ本年度ヨリ遞信省ノ所管ニ移サレタルヲ以テ元北海道鐵道部ニ於テ施行セル事業ヲ繼承シ又新ニ工ヲ起シ釧路線利別帶廣間ハ既ニ全ク竣工セルモ其他ハ未タ著シク工程ヲ擧クルニ至ラサリキ

保存工事ニ在リテハ各線トモ線路ノ狀態及運轉ノ狀況ニ從ヒ必要ナル施設ハ總テ尋常保線工事トシテ施行シ尙ホ前年度ヨリ引續キ軍事輸送ノ頻繁戰後ノ事業經營及運轉速度變更準備等ノタメ特ニ線路ノ健全ヲ確保スルノ必要上一層注意修理ヲ加ヘタリト雖モ經費ノ如キハ專ラ節約ヲ旨ト爲セリ而シテ東海道、北陸、信越、奧羽、中央（西）、篠ノ井、鹿兒島、吳及舞鶴ノ九線ニ於テハ暴風雨ノタメ災害ヲ被リ臨時保線工事トシテ復舊事業ヲ經營シタルモ是レ亦經費多大ナラサリキ

改良工事ハ前年度ニ於テ事業緊縮ノ結果市街線ニ屬スル工事ハ之ヲ中止シ東海道線ニ於テハ大府停車場構內改良、枇杷島停車場新設、岐阜大垣間複線工事其他用地買收竝ニ土工、軌道、諸建物等ノ築造工事ヲ施行シ神戶海陸聯絡線敷設工事ハ前年度ニ於テ著手シタル些少工事及水害復舊工事ノミヲ施行シ其他ハ之ヲ中止セリ

第7137号　本文

鐵道業務

鐵道業務概況

本年度ニ於ケル鐵道業務ノ概況ハ左ノ如シ

運輸ノ施設

本年度ニ於テ官設鐵道ニ新ニ運輸ノ施設ヲ爲シタル主ナル事項ハ左ノ如シ

運輸ノ狀況

本年度ニ於ケル鐵道業務ノ狀況ハ左ノ如シ

第7137号　本文

○官吏發著　曩ニ吳ヘ出張ノ齋藤海軍大臣ハ一昨十六日歸京セリ●吳海軍工廠ヘ差遣ノ東宮武官秋澤芳馬ハ一昨十六日歸京●御料局技師上野有芳ハ本月十二日出發同局靜岡支廳管內ヘ、帝室會計審査官工藤一記ハ昨十七日出發長野山梨兩縣下ヘ孰モ出張セリ●曩ニ上京ノ衞生試驗所技師平山松治ハ一昨十六日出發歸任●三重縣ヘ出張ヲ命セラレタル造神宮主事牧野正雄ハ昨十七日出發セリ●曩ニ津地方ヘ出張ノ大久保第三師團長及同師團參謀長西川虎次郎ハ本月十三日、姬路ヘ出張ノ藤本步兵第二十旅團長、步兵第二十一聯隊第一期教育檢閱視察竝ニ山口縣都濃郡德山附近地理實査ノタメ濱田及德山ヘ出張ノ村山步兵第二十一旅團長、步兵第九旅團幹部演習視察ノタメ山口縣下ヘ出張ノ第五師團參謀長野島忠孝ハ同十四日孰モ歸著●山梨縣甲府地方ヘ出張ノ陸軍中央幼年學校長野口坤之ハ同十五日歸京●第二師團參謀長阿部貞次郎ハ第二師團幹部演習ノタメ栃木縣宇都宮地方ニ向ヒ同十四日、米國ヘ差遣ノ黑木陸軍大將、木越同中將、梅澤同少將、同工兵大佐太田正德、同騎兵中佐永山元彥、同砲兵少佐吉田豐彥、同步兵大尉西鄕從德、同大尉田中昌次郎、同一等主計小林剛、同一等軍醫田村俊次ハ昨十七日孰モ出發セリ

樺太地方裁判所長ニ轉補セラレタル判事中谷速水及同裁判所檢事正ニ轉補セラレタル檢事菅野善三郎ハ一昨十六日孰モ著任セリ

學術上取調ノタメ千葉縣下演習林ヘ出張ノ川瀨東京帝國大學農科大學教授ハ本月十日歸京セリ

臺灣總督府臺南地方法院長櫻庭榮陰ハ本月十五日上京セリ

○官吏卒去　官幣大社淺間神社宮司從五位伊藤景裕ハ本月十五日卒去セリ

判決

○關税訴願裁決　關税賦課ニ關スル訴願ニ對シ本月十三日大藏大臣ハ左ノ如ク裁決セリ

第五號

大豆粉ノ關税賦課ニ關スル訴願裁決書

兵庫縣神戶市榮町一丁目百六十六番
訴願人　公和號
東京府東京市日本橋區上槇町十一番地
右代理人　辯護士　關口治三郎

訴願人カ明治三十九年十二月七日輸入シタル大豆粉六千三百五十九袋ニ對スル關税賦課處分ニ對シ異議ノ申立ヲ爲シタルニ神戶税關長ハ本年一月八日其ノ申立相立タサル旨判定セラレタルヲ以テ茲ニ訴願ヲ提起セリ其ノ訴願ノ理由ハ左ノ如シ

訴願人陳述ノ要旨ハ

第一　判定書ノ理由ハ大豆ハ五穀中ノ一ナリ故ニ輸入税表ニハ第二類ニ於テ穀物及種子ナル部門ヲ設ケ其ノ分類中ニ大豆ヲ特ニ掲記セリ而シテ輸入税表第三十二號ニハ穀粉及澱粉類ト掲ケアルヲ以テ大豆カ穀物ナルコトニ疑ヒナキニ於テハ其ノ穀粉カ同號ニ依リ課税セラルヽハ當然ナリト云フニアレトモ是レ全ク法ノ精神ヲ無視シタル不當ノ解釋ト云ハサル可カラス大豆カ穀類タルコトハ法ノ明カニ規定スル所ナルヲ以テ其ノ粉ハ卽チ輸入税表第三十二號ニ所謂穀粉ナリト推定スルハ一見至當ノ解釋ノ如キモ輸入税表ニ依レハ第三類飮食物ト題シ其ノ分類トシテ第三十二號ニ穀粉及澱粉ト規定セルヲ以テ第三十二號ニ所謂穀粉ナルモノハ原則トシテ人類ノ飮食物トシテ適當ナルモノヲ指稱シタルモノト解スルヲ至當トス然レトモ輸入税表ノ他ノ類別ニ米、砂糖若ハ酒類ノ如キ人類ノ常用タル飮食物ヲ列擧シアルヨリ見レハ第三類中ニハ常ニ必スシモ飮食物ノミヲ列記セルモノト謂フ可カラサル如シ然レトモ第三類飮食物ノ部ヲ熟視スルニ其ノ第二十五號以下第四十六號迄列記ノ物品ハ悉ク人類ノ常用ニ適當セル飮食物ノミニシテ其ノ第四十七號ニ於テ其ノ他ノ食物ト規定シアルヨリ見レハ第二十五號以下第四十六號迄ハ人類ノ常用ニ適當セル飮食物ヲ列記シ之ニ包含セサル他ノ食物アルコトヲ豫想シ概括的ニ別ニ一號ヲ設ケ其ノ他ノ食物ト規定シタルモノニシテ輸入税表第三類ノ法文上同類中ニ列記シアル各號ノ物品ハ何レモ人類ノ常食ニ適當セル物品ノミヲ列記シタルモノナリト解釋スルハ尤モ法ノ精神ヲ得タルモノト信ス抑モ法律上穀粉ノ定義ヲ下スハ頗ル困難ナリト雖輸入税表第三類第三十二號中ニ例示シアル穀粉ナルモノヲ通覽スルニ穀粉トハ穀類ヨリ穀皮ヲ去リタル內容ヲ粉末ニシタルモノニシテ之レニ割烹的加工ヲ施セハ人類ノ常食トシテ適當ナル物品ヲ製造シ得ルモノヲ云フニ外ナラス今此意義ニ於テ本品ヲ鑑別スルニ本品ハ生大豆ヲ穀皮ト共ニ粉末ニシタルモノニシテ假令之レニ割烹的加工ヲ施スモ到底人類ノ常食トシテ適當ナル物品ヲ製造シ能ハサルコトハ常識ヲ以テモ理會シ得ヘキコトニ屬ス而シテ本品ト雖絕對的ニ人類ノ食物ニ供シ能ハサルニアラサルモ法ニ所謂穀粉ナルモノハ通常人類ノ常食ニ適當ナルモノヲ指稱シタルモノナルヲ以テ本品ヲ以テ輸入税表第三十二號ノ穀粉ニ擬スルハ頗ル失當ナリトス又輸入税表第五百三十五號ニ掲擧スル肥料中ニ食用ニ適セサル乾魚トアリ蓋シ乾魚ト雖絕對ニ人ノ食物ニ供シ能ハサルニアラサルモ通常人類ノ食物ニ適當セサル乾魚ハ之レヲ肥料ト見做スコトヲ規定シ物カ二箇以上ノ效用ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ物ノ通常最モ適當ナル效用ニヨリ其ノ物ノ性質ヲ區別スヘキ原則ヲ示シタルニ外ナラス之レヲ要スルニ或ル物品カ二箇以上ノ效用ヲ有スル場合ニ其ノ物品カ輸入税表ノ如何ナル部類ニ屬スルヤヲ判定スルニハ其ノ物品ノ通常尤モ適當セル效用ヲ標準トシテ之レヲ決セサル可カラス特ニ本品ノ如キハ日露戰役中露國ニ於テ軍馬ノ飼料トシテ製造シタルモノニシテ殆ント空前絕後ノ物品ト云ハサル可カラス而シテ輸入税表制定ノ當時ニ於テハ嘗テ此ノ如キ物品ノ存在ヲ豫想セサリシコトハ疑ナキ所ニシテ本品ヲ穀粉中ニ包含セシムル意思ナキコトハ亦明瞭ニシテ此ノ如キ立法上ノ沿革ニ依ルモ本品ヲ飮食物トシテノ穀粉ト解釋シ輸入税表第三十二號ヲ適用シタルハ頗ル失當ナリト云ハサル可カラス今假リニ一歩ヲ讓リ本品ヲ穀粉ナリト解スルモ本品ハ尙ホ他ニ肥料若ハ飼料トシテ有效ナルモノニシテ其ノ效力ハ穀粉トシ飼料トシ若ハ肥料トシテ之レヲ使用スルニ何レモ同一ニシテ此間ニ徑庭アルコトナシ此ノ如ク物カ同一ナル程度ニ數箇ノ效用ヲ有スル場合ニハ其ノ最モ輕キ税率ニ依リ課税スヘキコトハ税法解釋ノ原則ナルヲ以テ殊ニ明文ヲ以テ重キ税率ヲ課スヘキ規定ナキ以上ハ其ノ尤モ輕キ肥料トシテ課税スヘキコトハ論ヲ俟タス

第二　第一ニ說明セル如ク本品ハ輸入税表第三十二號ニ所謂穀粉ニ該當セサル以上ハ輸入税表第五百三十六號若ハ第五百三十七號ニ依リ課税スヘキモノナルヤ否ヤノ問題ヲ生ス之ヲ決スルニハ法ニ所謂未製品及半製品ノ意義ヲ確定セサル可カラス法ニ所謂未製品トハ或ル原料ニ或ル一定ノ全製品ヲ製造スル爲メニ通常必要ニシテ且有益ナル加工ヲ施シ未タ半製品ニ至ラサルモノニシテ半製品トハ或ル未製品ニ或ル一定ノ全製品ヲ製造スル爲メニ通常必要ニシテ且有益ナル加工ヲ施シ未タ全製品ニ至ラサルモノヽ謂ニ外ナラス故ニ未製品ト云ヒ半製品ト云フハ畢竟或ル一定ノ原料ヲ用ヒテ製造セラルヘキ一定ノ全製品ニ對スル關係的ノ用語ニ外ナラス而シテ或ル原料若ハ未製品ニ或ル加工ヲ施シタルモノハ常ニ必シモ未製品若ハ半製品ナリト斷定スヘカラス或ル一定ノ原料若ハ未製品ニ一定ノ加工ヲ施シタル物カ未製品若ハ半製品ナルヤ否ヤヲ判定スルニハ必ス其ノ加工ノ方法カ其ノ未製品若ハ半製品ヲ以テ製造セラルヘキ一定ノ全製品ノ製造ニ通常必要ニシテ且有益ナルヤ否ヤニ依リテ之ヲ決セサルヘカラス卽チ其ノ加工ノ方法カ一定ノ全製品ヲ製造スルニ通常必要ニシテ且有益ナル場合ニハ加工セラレタル物品ハ法ニ所謂未製品若ハ半製品ニシテ之ニ反シテ其ノ加工ノ方法カ一定ノ全製品ヲ製造スルニ通常必要ニシテ且有益ナラサル場合ニ於テハ假令一定ノ原料ニ或ル加工ヲ施シタルモノナリト雖之ヲ未製品若ハ半製品ト云フ可カラス從テ經濟上原則トシテ未製品ハ原料ヨリ高價ナルヘキモノニシテ半製品ハ尙一層高價ナラサル可カラス何トナレハ未製品半製品ノ價格ハ原料ノ價格ニ一定ノ全製品ヲ製造スルニ必要ニシテ且有益ナル勞力ノ賃銀ヲ加ヘタルモノト同一ナルヘケレハナリ

未製品半製品ノ法律上ノ意義ハ右說明スルカ如シ今翻テ本品ノ場合ニ之ヲ適用センニ大豆ヲ原料トシテ製造セラルヘキ醬油、味噌、油、豆腐ノ如キ全製品ヲ製造スルニ本品ノ如ク大豆ヲ粉末ニスル如キ加工ハ果シテ通常必要ニシテ且有益ナル方法ナルヤ否ヤ是レ別ニ專門家ノ鑑定ヲ待タス常識ヲ以テ判斷シ得ヘキ事項ニシテ本品ノ如キ加工方法カ前記ノ全製品ヲ製造スルニ通常必要ニシテ且有益ナラサルノミナラス却テ不必要ニシテ且有害ナル加工方法ナルコトハ現ニ本品ノ經濟上ノ價格ニ徵スルモ明カニシテ原料タル大豆百斤ノ價格金四圓ナルニ比シ本品ノ價格カ僅カニ其ノ半價タル金二圓ニ過キサルニ依ルモ一點ノ疑ナキ所トス

右說明スル如ク本品ノ如キ加工方法カ原料タル大豆ヨリ製造セラルヘキ全製品タル醬油、味噌、油、豆腐ヲ製造スルニ通常必要ニシテ且有益ナラサルノミナラス却テ不必要ニシテ且有害ナルモノナル以上ハ本品ヲ以テ法ニ所謂未製品若ハ半製品ナリト云フヲ得ス假リニ一歩ヲ讓リ未製品半製品ノ意義ヲ右說明ノ如ク解セス未製品半製品全製品トハ別號ニ記載セサル總テノ物品ヲ悉ク半製品未製品全製品ノ部ニ包含セシムルノ法意ナリト解センカ本品ノ如ク飼料若ハ肥料ニ該當スヘキ物品ニ付テハ半製品未製品全製品ニ關スル規定ヲ適用スヘカラサルコト勿論ニシテ何レヨリ論スルモ本品カ未製品若ハ半製品ニアラサルコト明カナリトス

第三　第一第二ニ說明セル如ク本品ハ輸入税表第三十二號ニ所謂穀粉ニアラス又第五百三十六號第五百三十七號ノ未製品若ハ半製品ニモ該當セストセハ本品ニハ輸入税表ノ何號ヲ適用シ課税スヘキヤハ次ニ生スヘキ疑問ナリトス之ヲ決スルニハ第一ノ中段ニ於テ說明セル如ク本品ノ尤モ適當ナル效用ハ何ナルヤヲ研究スルコトヲ要ス此點ニ關スル判定書ノ理由ハ訴願人ハ肥料以外ニ用途ナキモノヽ如ク主張スト雖本品ヲ檢スルニ斯ク劣等ナル品質ノモノニ非スシテ尙ホ他ニ廣ク使用ノ途アルモノト認ムトアリテ如何ナル途ニ使用シ得ヘキヤヲ明示セサルモ第一ニ述ヘタル如ク元來本品ハ日露戰役中露國ニ於テ軍馬ノ飼料トシテ製造シタルモノニシテ最モ馬糧ニ適當ナルヲ以テ輸入税表第四百七十九號第二ヲ適用シテ課税スヘキモノナレトモ本品製造ノ時ヨリ既ニ年月ヲ經過シ今日ニ至リテハ最早ヤ馬糧ニモ適當セサルニヨリ其ノ尤モ適當ナル效用ヲ有スル肥料トシテ輸入税表第五百三十五號ヲ適用シテ處分スヘキモノナリト信ス殊ニ明治三十九年九月一日神戶港ニ輸入シタル本品ト同一ナル大豆粉五百袋ニ對シ神戶税關長ハ未製品トシテ其ノ當時ノ輸入税表ニ依リ從價税一割五分ヲ課セラレタルニ今日ニ至リ之ト同一ナル本品ニ對シ穀粉トシテ課税セントスルハ税關ノ處置前後矛盾ニシテ頗ル失當ナリト言ハサルヘカラス然レトモ是レ畢竟本品ノ如キハ空前絕後ノ物品ニシテ立法者ノ豫想セサリシ結果法ノ解釋ノ困難ナルヨリ出テタル所爲ニシテ則チ本品ノ如キ特稀ノ物品ニ付キ法ノ不備ヲ表明シタルモノト云ハサル可カラス既ニ法ノ不備タルコトヲ知リナカラ牽強附會シテ本品ニ擬スルニ穀粉ヲ以テシタルハ益失當タルヲ免レス

第四　第一乃至第三ハ專ラ法律上ノ見解ヲ陳述シタルモノナレトモ今本品ノ歷史ニ付キ少シク說明セン本品ハ元ト日露戰役中露國ニ於テ軍馬ノ飼料トシテ製造セラレタルモノニ係リ訴願人カ之ヲ露國ヨリ拂下ケヲ受ケタル目的ハ肥料トシテ之ヲ日本ニ輸入セントスルニアリタリ而シテ日本ヘ輸入後其ノ初メハ豆糟製造人ニ之ヲ賣却シ豆糟製造人ハ初メ本品ヲ以テ豆糟ヲ製造シ肥料トシテ賣却シタルモ本品ヲ以テ豆糟ヲ製造シ得タル豆油ノ價格カ大豆ヨリスル製造高ノ四分一ニ過キスシテ到底豆糟製造ノ費用ヲ償フニ足ラサルニヨリ現今ニテハ豆糟ノ製造ヲ中止シ本品ノ儘ニテ肥料トシテ一般ニ賣却シツヽアルモノニシテ到底本品ハ肥料以外ニ使用ノ途ナキモノニシテ肥料トシテ使用スルハ廢物利用ノ一方法タルニ外ナラス而シテ輸入税表ニ於テ肥料ヲ無税トシタルハ肥料ノ輸入ヲ獎勵シ殖產ノ發達ヲ期待シタルニ外ナラス本品ノ如ク他ニ有效ナル用途ナク肥料トシテハ其ノ價格ノ廉ト效力ノ多大ナル點ニ於テ他ニ其ノ比ヲ見サル物品ニ重税ヲ課シ之カ輸入ヲ禁止セントスルカ如キハ國家經濟上頗ル其ノ機宜ヲ得サル處置ト云ハサルヘカラス

以上ノ理由ナルニ依リ訴願人カ明治三十九年十二月七日輸入シタル大豆粉六千三百五十九袋ノ關税賦課處分ニ對スル異議申立ニ關シ明治四十年一月八日神戶税關長カ爲シタル判定ハ之ヲ取消シ更ニ本品ヲ無税トストノ裁決ヲ求ムト云フニ在リ

神戶税關長辯明ノ要旨ハ

訴願人ハ本品ヲ以テ到底人類ノ常食トシテ適當ナルモノヲ製造シ能ハサルモノナリト主張スト雖其ノ理由ハ單ニ大豆ヲ穀皮ト共ニ粉末ニシタリト云フニ過キス而シテ穀皮ノ存在ハ品種ニ依リ食料品ノ製造ニ不適當ナル場合モ之アルヘシト雖大豆ノ如キハ其ノ粉末ニ穀皮ノ存在セリトノ理由ヲ以テ直ニ人類ノ常食トシテ適當ナルモノヲ製造シ能ハサルモノト斷定スルハ不當ノ甚シキモノナリ又訴願人ハ曩ニ同一物品ヲ輸入シタルトキ當時ノ輸入税表ニ依リ一割五分ヲ課シタルニ拘ハラス今日ニ至リ之ヲ穀粉ナリトシテ課税スルハ前後矛盾ノ處置ナリト言フト雖當時ノ輸入品ハ其ノ貯藏方宜シキヲ得ス著シク蟲害ヲ受ケタルモノナレハ飮食物製造ニ適セサル原料品ト認メ輸入税表第四百九十六號ヲ適用シ從價一割五分ヲ課シタルモノトス而シテ曩ニ輸入シタルモノト今回ノ輸入品トハ假令製造ノ際ハ同一物ナリシトスルモ輸入ノ當時著シク其ノ品質ヲ異ニセルヲ以テ今回ノ輸入品ヲ穀粉ト認メタルノ故ヲ以テ前後矛盾ノ處置ト謂フヲ得ス又訴願人ハ本品ノ最モ適當ナル效用ヲ肥料ニ在リトスルモ其ノ理由ハ馬糧ニモ適セスト言フニ過キス卽チ本品カ馬糧ニ適セサルヲ以テ肥料ニ最モ適當ナリトスルハ極メテ漠然タル主張ト謂ハサルヲ得ス且訴願人ハ本品ノ價格ヲ百斤二圓ナリト謂フモ本官ノ調査ニ依レハ本品百斤ノ價格ハ二圓七八十錢ニシテ豆糟ハ普通二圓三四十錢ナレハ本品ヲ以テ豆糟ヲ製造シ若ハ豆糟ニ代用シテ肥料ニ供スルモノト認ムルヲ得ス其ノ他訴願人ノ陳述ハ本課税處分ニ直接ノ關係ナキヲ以テ辯明ノ限リニアラス要スルニ本品ハ飮食物製造ニ適スヘキ穀粉ナルヲ以テ本官カ輸入税表第三十二號ニ依リ從價三割ノ關税ヲ賦課シタルハ至當ノ處分ナリト云フニ在リ

依テ本件ニ關スル一切ノ文書標本竝ニ關税訴願審査委員會ノ審査報告ヲ査閱シ審理ヲ遂クル處訴願人ハ本品ハ人類ノ常食トシテ適當ナル物品ヲ製造シ能ハサルモノナルヲ以テ輸入税表第三類飮食物ノ下ニ分類セラレタル第三十二號ノ穀粉ニ屬セス又本品ノ如キ加工タル原料大豆ヨリ製造セラルヘキ全製品タル醬油、味噌等ヲ製造スルニ不必要ニシテ有害ナルモノナルヲ以テ未製品若ハ半製品トシテ之ニ同税表第五百三十六號若ハ第五百三十七號ヲ適用セラルヘキモノニ非ス而シテ本品ハ日露戰役中露國ニ於テ軍馬ノ飼料トシテ製造シタルモノナルヲ以テ輸入税表第四百七十九號ノ二ニ該當スヘキモノナルモ其ノ製造ノ時ヨリ既ニ年月ヲ經過シ最早馬糧ニモ適セサルニ因リ其最モ適當ナル效用ヲ有スル肥料トシテ輸入税表第五百三十五號ヲ適用セラルヘキモノナリト主張シ又神戶税關長ハ本品ハ飮食物ノ製造ニ適スヘキ穀粉ナルヲ以テ輸入税表第三十二號ニ依リ課税スヘキモノナリト辯明スト雖其ノ提供セル標本ヲ檢スルニ本品ハ穀物タル大豆ノ粉ニシテ穀粉ニ屬スヘキモノナルモ其ノ品質飮食物ノ製造ニ適セス而カモ飼料トシテ使用スルコトヲ得ルモノナルヲ以テ輸入税表第四百七十九號ノ二ヲ適用シ從價五分ノ關税ヲ賦課スヘキモノトス

仍テ裁決スルコト左ノ如シ

本訴願ニ係ル物品ハ輸入税表第四百七十九號ノ二ヲ適用シ從價五分ノ關税ヲ賦課スヘキモノトス

明治四十年四月十三日
大藏大臣　法學博士阪谷芳郞

警察及監獄

○出火　東京府外二縣ニ於ケル出火左ノ如シ

東京府　一昨十六日午前一時北多摩郡谷保村大字谷保六千七百八十一番地ヨリ出火住家一戶、土藏一棟、物置二棟、便所、廐舍各〻一棟全燒同三時鎭火セリ

靜岡縣　本月十五日午前十時周智郡三倉村小字大河內大日山金剛院ヨリ出火本堂、寶物藏其他建物計八棟燒失同午後七時鎭火セリ

宮城縣　本月十五日午前二時頃仙臺市名掛町三十八番地ヨリ出火全燒二十三戶、神社一同四時鎭火原因詳ナラス

○全國在監人員　本年二月末日現在全國在監人員左ノ如シ　△印ハ減

	四十年二月末日現在	同年一月末日現在	三十九年二月末日現在	前月比較增減	前年比較增減
囚人	四九、一六〇	四八、三四五	四九、六八四	八一五	△五二四
刑事被告人	四、八五七	四、五六〇	四、三三九	二九七	五一八
懲治人	八七四	八四一	五八二	三三	二九二
別房留置人	一八三	一八九	一一四	△六	六九
乳兒	五九	六二	五四	△三	五
總計	五五、一三三	五三、九九七	五四、七七三	一、一三六	三六〇
再揭　監獄	五三、九四九	五二、九四七	五三、七八四	一、〇〇二	一六五
再揭　留置場	一、一七四	一、〇五〇	九八九	一二四	一八五

第7137号　本文

○陸海軍

○水路告示第千九百七號

一艦船ニ於テ此告示ヲ領受シタルトキハ速ニ其關係ノ圖誌ヲ改正增補セシコトヲ要ス
一方位ハ總テ磁針ニシテ燈弧ノ方位ハ海方ヨリ取ル

第五六四一項

海軍海圖第一三三號日本水路誌第四卷二八六頁ニ關係ス

本洲北西岸　美保灣內

中海暗礁ノ發見

明治四十年四月坂鶴丸船長津田喜三平ノ報告ニ據レハ中海航行中安來沖合ニ於テ一暗礁ヲ發見セリ該礁ハ幅約五碼長約十碼礁上最少水深十呎ニシテ該礁ト龜島トノ中央ハ水深約十二呎ナリト卽チ該礁ノ位置左ノ如シ

該礁ヨリ（龜島ハ　南二二度四〇分西／蒲鉾島ハ　南六八度三〇分東）距離一鏈半强

依テ該礁ノ北方附近水深四尋ノ處ニ笹附キノ青竹ヲ立テ、其位置ヲ示明シ置ケリト云フ

偏差四十年四度一四分西

第五六四二項

海軍海圖第二四八號第二三二號第二四四號第二一〇號第三〇七號日本水路誌第二卷附錄五三頁東洋燈臺表上卷一二頁三六番ニ關係ス

臺灣北岸

鼻頭角本燈臺ノ點火及假燈撤去

臺灣總督府告示第四六號(四十年四月十三日官報)ニ據レハ鼻頭角燈臺ノ移設工事中本燈ヲ撤去シ假燈ヲ點火セシ旨告示セシ處(水路告示第一八六六號)今般右工事落成セシニヨリ本燈ヲ再點シ且ツ同時ニ假燈ヲ撤去ス而シテ其本燈位置等左ノ如シ

一北緯二五度七分四〇秒東經一二一度五五分一〇秒
一明弧ハ南八九度東ヨリ南及西ヲ經テ北三四度西マテ二三五度間
一燈火ハ四千燭光ニシテ高潮面上ノ高二三一呎
一晴天光達二十一浬半

但シ其他ハ總テ從前ノ通リト認ム

偏差四十年一度二三分西

第五六四三項

海軍海圖第四九〇號第四四一號第二一〇號支那海水路誌第三卷二八八頁東洋燈臺表上卷一〇八頁八七番ノ次(記入)ニ關係ス

支那東岸　舟山叢島

South-west Horn I. 燈臺建設著手及假燈設置

淸國各口巡工司特別告示第二九〇號(一九〇七年四月一日附)ニ據レハ今般舟山叢島S. W. Horn island燈臺ノ建設工事ニ著手シ且ツ右工事中一箇ノ假燈ヲ顯セリト云フ

在上海永瀧總領事通報

(一)本燈臺ハ工事落成ノ上更ニ其詳細ヲ告示スヘキモ現時ノ計畫ニ據レハ本燈ハ每二十秒ニ一暗黑(明十秒暗十秒)ヲ呈スル不動紅白燈(第六等折射)トナシ而シテ約北六二度西ヨリ南八度三〇分西ニ至ル間ハ紅光ヲ以テRugged islandsヲ照ラシ其他ハ總テ白光ヲ顯ス筈ニシテ且ツ霧砲ヲモ設備スル豫定ナリ

(二)假燈ハ每三十秒ニ急速四回ノ暗黑(明十六秒暗二秒明二秒暗二秒明二秒暗二秒)ヲ呈スル第六等複遮明暗白光燈ニシテ燈高ハ海面上約八十五呎晴天光達十浬ナリ

但シ假燈ハ紅光分弧ヲ有セス

假燈概位　北緯三〇度三五分三八秒　東經一二二度五七分五三秒

偏差四十年二度一五分西

第五六四四項

海軍海圖第四九三號支那海水路誌第四卷一〇七頁ニ關係ス

揚子江　鎭江地方

North tree(北樹)燈立標ノ移徙

淸國各口巡工司特別告示第二九一號(一九〇七年四月五日附)ニ據レハ近時Johnson Flats東方ヘ增延セルニ因リ四月十五日前後ヲ以テNorth treeノ立標ヲ其舊位置ヨリ南三七度東約一/2浬ノ處ニ移徙セリト云フ

在上海永瀧總領事通報

偏差四十年二度二〇分西

項外

正誤

水路告示第一九〇六號五六四〇項本文中角八甬ノ誤又「我」以下九字ハ衍

右告示ス

明治四十年四月十八日　水路部長　坂本一

注意

一當部刊行ノ圖誌類ハ左記ノ各地ニ於テ之ヲ販賣ス

日本郵船株式會社東京本店○大阪、神戶、長崎、函館、門司ノ五支店

一此告示ノ印刷物ハ若干部ヲ前記ノ圖誌販賣所ニ備置キ無代價ニテ各航海者臨時ノ要望ニ應スヘシ

一此告示ノ印刷物ハ左記ノ韓國沿海各理事廳及帝國領事館ニモ送付シアルヲ以テ各航海者ハ隨時該處ニ就テ覽閱スルヲ得ヘシ

鎭南浦　馬山　仁川　木浦　群山　釜山　元山　城津○孟買　新嘉坡　馬尼刺　香港　盤谷
廈門　上海　漢口　杭州　福州　芝罘　天津　牛莊　浦鹽斯德　晚香坡　シヤトル　桑港
ホノルヽ　レツシー　タウンスビル

一海上ノ危險ヲ發見シ又ハ航海上現行圖誌ノ改補ニ必要ナル實驗ヲ爲シタルトキハ速ニ其當事者ヨリ直接水路部ニ報告アランコトヲ希望ス依テ便宜ノ爲メ水路報告用紙ト題セル印刷物若干部ヲ第一號ニ記セル各圖誌販賣所ニ備置キ無代價ニテ各航海者ノ要望ニ應ス但必スシモ此用紙ヲ用ユルニ及ハス

(一四)

○徵兵署開設日割中改正　去月十一日本欄內揭載徵兵署開設日割中第六師管鹿兒島聯隊區大島部ノ檢査日「自七月十四日至七月二十五日」ヲ「自七月十四日至七月二十八日」ニ改ム(陸軍省)

○蹄鐵術卒業　野戰砲兵第八聯隊ニ於テハ本月五日、騎兵第十二聯隊及廣島灣要塞砲兵聯隊ニ於テハ同十日左記ノ者ニ各〻蹄鐵術卒業證書ヲ付與セリ(陸軍省)

野戰砲兵第八聯隊

秋田縣平民	砲兵二等卒	小松久治
青森縣平民	砲兵一等卒	工藤西之助
巖手縣平民	砲兵一等卒	菅原幸平
山形縣平民	砲兵一等卒	齊藤和吉
秋田縣平民	砲兵二等卒	北島德藏
山形縣平民	砲兵一等卒	大江喜吉
青森縣平民	砲兵一等卒	鳴海榮八
山形縣平民	砲兵二等卒	鹿野貞太郎
山形縣平民	砲兵一等卒	高橋善吉
青森縣平民	砲兵一等卒	照井正人
青森縣平民	砲兵二等卒	葛西角次郎
宮城縣平民	砲兵二等卒	高橋鼎

騎兵第十二聯隊

大分縣平民	騎兵一等卒	多田伴次
大分縣平民	騎兵一等卒	河野常七郎
福岡縣平民	步兵二等卒	中本鐵造
佐賀縣平民	騎兵一等卒	綾部清九郎
大分縣平民	騎兵一等卒	丸小野健三
大分縣平民	騎兵二等卒	今村遜平
宮崎縣士族	騎兵一等卒	武田源次郎
福岡縣平民	砲兵一等卒	手島謙三郎
福岡縣平民	騎兵二等卒	原新吾
福岡縣平民	步兵一等卒	城野佐市
長崎縣平民	步兵二等卒	松尾善太郎
長崎縣平民	步兵一等卒	山口勇三郎
福岡縣平民	騎兵一等卒	白石德三
大分縣平民	騎兵二等卒	藤川市作
福岡縣平民	砲兵二等卒	森新一郎
大分縣平民	騎兵一等卒	今村健吾
長崎縣平民	步兵二等卒	下村芳雄
佐賀縣平民	騎兵二等卒	山口儀八
宮崎縣平民	騎兵一等卒	甲斐今朝四郎
福岡縣平民	騎兵二等卒	吉村鹿吉
福岡縣平民	步兵二等卒	西島茂七郎
福岡縣平民	騎兵二等卒	芳中六太郎
福岡縣平民	騎兵二等卒	栗山六藏

廣島灣要塞砲兵聯隊

島根縣平民	砲兵一等卒	大塚賢一
島根縣平民	砲兵二等卒	本田善市郎
島根縣平民	砲兵二等卒	高橋慶藏
山口縣平民	砲兵二等卒	重村傳一
山口縣平民	砲兵一等卒	金子吉五郎
廣島縣平民	砲兵一等卒	濱本保太郎
島根縣平民	砲兵二等卒	水野善太郎
岡山縣平民	砲兵二等卒	野口土太郎
山口縣平民	砲兵二等卒	竹本韓輔

○軍艦發著　各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ(海軍省)

艦名	月日	著	發	行先
伏見	四 一五	揚州		
笠置・新高	同 一六	大沽		
秋津洲	同		上海	吳淞
須磨	同	横濱		

艦名	月日	著	發	行先
叢雲・不知火	同 一六	松眞		
白雲・朝潮	同 一七		松ケ下	二見
高雄	同		品川	横須賀

○學事

○卒業證書授與　學習院女學部ニ於テ本月四日生徒卒業證書授與式ヲ擧行シ本年及前年ノ卒業生ニ證書ヲ授與セリ其次第左ノ如シ(宮內省)

當日ハ常宮周宮兩殿下式場ニ成ラセラレタリ院長ノ式辭、卒業證書授與式次第及卒業生徒ノ氏名左ノ如シ

院長式辭

本院女學部ノ卒業證書授與式ヲ擧行スルニ當リ長クモ常宮周宮兩內親王殿下ノ御臨場ヲ辱ウシタルハ洵ニ本院ノ光榮トスル所ニシテ卒業生ノ面目亦之ニ過クルナシ本院ハ夙ニ聖旨ヲ奉體シ特ニ重キヲ德操ノ修養ニ置キ深切慈愛貞淑順良ノ美德ヲ備ヘシメ以テ教育ノ實效ヲ擧シコトヲ努ム本院ノ學生ハ會社會ノ上流ニ位スルモノナレハ其ノ一言一行ハ自ラ世ノ瞻ル所トナル其ノ責務モ亦重カラスヤ今ヤ諸子ハ既定ノ學課ヲ修メテ卒業ノ榮ヲ荷フ是レ教授諸官ノ指導誘掖ノ力ニ頼レルモ亦諸子カ多年黽勉ノ功ヲ積メルニ因ラサルハアラス然レトモ其ノ學フ所ヲシテ之レカ效果アラシムルハ今日以後ニアリ諸子宜シク益本院教育ノ趣旨ヲ體シ實踐躬行女子ノ本分ヲ全ウシ以テ　聖恩ノ萬一ニ報イ奉ラサルヘカラス今日ノ盛儀ニ際シ一言ヲ述ヘテ以テ諸子ノ前途ヲ祝ス

(一五)

卒業證書授與式次第

午前九時三十分　學生式場著席
次　舊卒業生式場著席
次　來賓式場著席
次　參觀人式場著席
次　皇族方御臨場
次　常宮、周宮兩內親王殿下御臨場
　此時奏樂
次　學生唱歌
　皇后陛下御製　金剛石　水ハ器(式場一同起立)
次　院長中學全科卒業生別科修了生及小學全科卒業生總代ニ證書ヲ授與ス　學生全員
　殿下方ニ證書ヲ上ル場合ニハ御銘々ニ奉呈シ且其際ハ職員學生起立敬意ヲ表ス
次　院長專修科各學年級及小學科各學年級及第生總代ニ證書ヲ授與ス
　此時奏樂
次　院長式辭(職員學生起立)
次　女學部長祝辭(同上)
次　全科卒業生總代一名謝辭(學生起立)
次　學生唱歌(全科卒業生ヲ除ク)
　秋の宮居
次　常宮、周宮兩內親王殿下御退場
　此時奏樂
次　皇族方御退場
次　來賓復席
次　參觀人退場
次　舊卒業生退場
次　學生退場
次　來賓ニ茶菓ヲ供ス

三十九年四月卒業生(氏名イロハ順)

武子女王殿下　石川菊　伊東末子　色川楓子　今泉殷　橋元爲子　花房豐久　長谷川孝　羽野恒子　橋本雅子　新山樂子　本宮恒子
東郷鎰子　岡山萬千子　小笠原梅　楫取治子　甘露寺能子　横尾照子　丹治久　玉利照子　田村康子　副島鎰子　園田千代子　澤田わか
中上川みち　內藤珠子　難波里久子　村上靜子　上原緋子　淺間九梅　久留島園子　黒木愛子　山澤治　山本文子　山田あき　柳澤悅子
松島あい　松平敬子　松平愛子　藤村隆　小坂菊枝　古賀房子　阿波ちよ　淺沼てる　佐々木爵子　榊寶　齋藤あや　北小路親子
三宅二三子　水野進子　三田瑚　本尾朋子　關光子　鈴木登美　鈴木繁　杉山照子

四十年四月卒業生(同)

伊藤潔　井原梁　廣八穗　原多喜　坂丈子　橋口京子　本多麗子　堀江ロシ子　ペルト、フアク　得能百合子　大久保朝子　沖脩子
岡村幸子　大谷鶴子　奥清子　大久保尚子　渡邊久江　渡千代子　加納國子　川田靜子　何須磨子　河上文子　神田種子　武田滿子
武富荻子　田中泰子　田村政子　土田越路　鍋島俊子　村田富士子　薄井薫子　瓜生敦子　野村綾子　安川初子　松平昭子　前田倚子
松尾たま　兒玉なか子　駒澤竹子　寺尾せん　秋月花　佐竹雄子　佐竹芳子　佐々木トミ子　佐々木花枝　澤口久美子　壬生梅子　三好三洲子
三原綠子　滋野君子　廣幡朝子　毛利新歌子　森村玉子　森靜子　元田花子　鈴木隆　鈴木豔子　杉村壽賀子

別科修了生　牧野壽子

第7137号 本文

〇學校醫職務等ニ關スル細則　廣島縣知事ハ本年訓令第四號ヲ以テ學校醫職務等ニ關スル細則ヲ左ノ如ク定メタル旨報告セリ（文部省）

學校醫職務等ニ關スル細則

第一條　學校醫ハ縣立學校ニ在リテハ學校長、郡市町村立學校ニ在リテハ郡市町村長ニ於テ候補者ヲ選定シ履歴書ヲ添ヘ知事ニ上申スヘシ

第二條　村立學校及人口五千未滿ノ町立學校ニ於テ當分ノ内學校醫ヲ置クヲ得サル事情アルトキハ町村長ハ其事由ヲ具シ知事ニ開申スヘシ

第三條　學校醫ニハ數學校ノ學校醫ヲ囑託スルコトアルヘシ

第四條　學校醫ハ寄宿舍ヲ設クル學校ニ在リテハ毎月三回以上其他ノ學校ニ在リテハ毎月一回以上視察ヲナスヘシ

前項ノ外學年ノ終及學期ノ始ニ於テ更ニ一回以上視察スルヲ要ス

第五條　學校醫視察簿ハ別記ノ樣式ニ依リテ調製シ學校ニ備置クヘシ

第六條　學校醫職務規定第五條ニ依リ生徒身體檢査ヲナシタルトキハ五日以内ニ身體檢査票ヲ調製シ學校長ニ申告スヘシ

第七條　學校醫ハ學校衛生ニ關スル事項ニ付學校管理者學校長又ハ學校監督官吏ノ求メアルトキハ臨時出務スヘシ

第八條　學校醫ハ校舍ノ建築及修繕ニ關スル設計ニ就キ其意見ヲ學校管理者若クハ學校長ニ申告スルコトヲ得

第九條　學校醫ハ毎年四月十日限前學年ニ於ケル左ノ事項ヲ知事ニ報告スヘシ

一　生徒健康ノ狀況

二　學校管理者又ハ學校長ニ協議セシ衛生上ニ關スル改良ノ意見

三　右ノ外必要ト認メタル事項

第十條　學校醫ハ敎育上ノ集會ニ出席シ學校衛生上ニ關スル事項ニ就キ意見ヲ述フルコトヲ得

第十一條　學校醫ハ生徒身體檢査ノ際便宜學校職員ニ補助ヲ求ムルコトヲ得

第十二條　學校醫ハ職務執行上特別ノ器械ヲ要スルトキハ管理者若クハ學校長ニ協議スヘシ

第十三條　學校醫ハ疾病又ハ他ノ事故ニ依リ一箇月以上其職務ヲ行フコト能ハサルトキハ縣立學校ニ在リテハ學校長ニ其他ノ學校ニ在リテハ學校管理者ニ屆出ツヘシ

第十四條　學校醫辭職セントスルトキハ知事ニ願出ツヘシ

第十五條　縣立學校長又ハ學校管理者ニ於テ學校醫ノ囑託ヲ解クヘキ必要アリト認ムルトキハ其事由ヲ具シ知事ニ上申スヘシ

第十六條　學校醫囑託ヲ解カレタルトキハ後任者若クハ學校長ニ事務ヲ引繼クヘシ

第十七條　郡市町村立學校醫ニ給スル手當金額及支給方法ハ學校管理者ニ於テ之ヲ定メ知事ニ開申スヘシ

第十八條　學校醫ヨリ知事ニ進達スル書類ハ縣立學校ニ係ルモノハ學校長、市立學校ニ係ルモノハ市長其他ノ學校ニ係ルモノハ學校管理者及郡長ヲ經由スヘシ

第十九條　本規程ニ依リ町村長ヨリ知事ニ進達スル書類ハ郡長ヲ經由スヘシ

附　則

第二十條　明治三十一年訓令甲第三十七號市町村立學校醫規定細則ハ之ヲ廢止ス

（別記）

學校醫視察簿樣式（用紙美濃紙）

明治　年　月　日視察　學校醫　認印

事項	視察ノ現況	改良ノ意見
換氣ノ良否		
採光ノ適否		
机腰掛ノ適否		
前列及最後列ノ机ト黒板トノ距離		
煖爐ノ有無及煖爐ト最近生徒トノ距離		
室内ノ温度		
圖書掛圖黒板ノ衛生上ノ適否		
學校清潔方法實行ノ情況		
飲料水ノ良否		
其他衛生上必要ナル事項		

〇産業

〇實用新案登錄　特許局ニ於テ去月二十一日ヨリ同三十一日マテニ實用新案ヲ登錄セシモノ左ノ如シ（農商務省）

登錄番號	實用新案名稱	登錄證主氏名
四九二四	鹿ノ子絞入刺繡地	德島縣　福井　岩吉
四九二五	額面兼位牌	和歌山縣　泉　治平
四九二六	丸藥容器	大阪府　森下　博
四九二七	丸藥入兼用卷烟草入	同　日高　輝藏
四九二八	枕	同　金井　好二郎
四九二九	新案藁切器械	廣島縣　塚本　乙平 島根縣　永田　又平 河野　駒一
四九三〇	洋傘轆轤	東京府　坂田　芳松
四九三一	織機	埼玉縣　武内　亥之吉
四九三二	犂	愛知縣　大賀　嘉平
四九三三	活動玩具	東京府　玉井　吉次郎
四九三四	杼	同　森　三枝
四九三五	飛玩具	同　安藤　代次郎
四九三六	金花付髷止	同　兒玉　新兵衛
四九三七	書類保存器	神奈川縣　鳥澤　金太
四九三八	反物包紙	東京府　須田　友吉
四九三九	惰力止兼用警鈴（兩引戸用）	同　出尻　定次郎 安田　彦太郎
四九四〇	根掛兼用髷止	同　西宮　悦太郎
四九四一	安全針止	同　前田　道方
四九四二	土屋式自働點滅器	同　土屋　武吉郎
四九四三	表袴眞田	兵庫縣　三宅　幸平
四九四四	絲入紙撚機	京都府　松下　七兵衛
四九四五	「ポッケット」玉はじき	東京府　伊東　卓夫
四九四六	木内式酒母摺器	長野縣　木内　吾市
四九四七	皮眞田	兵庫縣　落合　牛太郎
四九四八	縫入眞田	（同上）
四九四九	輕便鐵線棚	東京府　寺島　金三郎
四九五〇	「サカ井」式自轉車用荷載セ籠	栃木縣　酒井　次郎吉
四九五一	飯炊用米均ラシ器	同　小林　丹藏
四九五二	輕便製茶篩器	靜岡縣　秋元　治三郎
四九五三	絽目「セルヂ」	京都府　木村　トミ
四九五四	新式文具	同　柴田　富藏
四九五五	戲具機械應用述結自働車	東京府　山崎　清吉
四九五六	疊ミ鏡臺	大阪府　濱川　虎之助
四九五七	衣服	同　小林　藤太郎
四九五八	搦室	東京府　中澤　善之介
四九五九	醫療用固定鉗子	同　福島　藤次郎
四九六〇	「コークス」焜爐	同　眞鍋　萬右衛門
四九六一	裝飾紐	同　櫻澤　龜之助
四九六二	磯霞織	京都府　尾藤　圭介
四九六三	小出式兼用噴霧器	愛知縣　小出　万吉
四九六四	布帛整理用霧吹機	神奈川縣　近藤　悌
四九六五	抽風器	東京府　奧澤　鉄次郎
四九六六	穗切鋸鎌	同　日高　歌太
四九六七	完全輕便書類刺	兵庫縣　伊東　隆
四九六八	枕	大阪府　峯　圭三
四九六九	組立玩具	同　科野　龜太郎
四九七〇	玩具	（同上）
四九七一	安全「インキ」壺	東京府　幸部　富
四九七二	裏毛付靴下製造機	富山縣　荒間　淳吉
四九七三	罫紙	大阪府　鹿島　修藏
四九七四	「モスリン」友禪	同　伊藤　久七郎
四九七五	垢摺	同　立野　良藏
四九七六	人力車用肩受	兵庫縣　百野　浦次郎 藤井　喜三太郎
四九七七	兩頭網針	岐阜縣　服田　謙一郎
四九七八	山本式淺吃水船	大阪府　山本　長三郎
四九七九	自働接地器	東京府　平山　兵治
四九八〇	文明垢摺袋	同　伊澤　芳造
四九八一	衛生雪隱腰掛	同　一見島　雄之助
四九八二	自由金鎖	富山縣　掛尾　滋太郎
四九八三	渡邊式泉納	兵庫縣　渡邊　英三郎
四九八四	北川式改良服	京都府　北川　久吉
四九八五	繪はかき兼寫眞臺	大阪府　入月野　源三郎
四九八六	志智式新板「バケツ」	岐阜縣　志智　彦三郎
四九八七	蒸發製造機	東京府　大竹　榮助
四九八八	貨幣整算封卷機械	同　小島　榮治郎
四九八九	捻子廻シ	同　齋木　鶴兵衛
四九九〇	新七寶	同　杉山　庄太郎
四九九一	泉筆	同　村越　伊平
四九九二	最新掛圖臺	兵庫縣　堤　恒也
四九九三	改良油注入器	廣島縣　樋口　敬司
四九九四	新吉野織	大阪府　村田　德松
四九九五	ろせつた紀念襯衣	同　平井　熊四郎
四九九六	切符挾付襟留	東京府　安藤　良吉
四九九七	「コード」輕便伸縮自在器	大阪府　岩原　松太郎
四九九八	錠	熊本縣　藤田　佐太郎
四九九九	漣織	京都府　山崎　直治郎
五〇〇〇	「ダイヤモンド」シルクメリヤス	同　澤村　熊次郎
五〇〇一	「ラムネ」瓶栓拔	東京府　馬場　一衛
五〇〇二	楔形靴足袋模型	獨逸國　ゲオルグエウイーデ
五〇〇三	養蠶用盆	東京府　木下　貢
五〇〇四	布團表地	大阪府　牧野　定助
五〇〇五	螢摺機	奈良縣　谷中　宗次郎
五〇〇六	家庭黒板	愛知縣　赤堀　孝太郎
五〇〇七	菊筋錢	東京府　天野　卯兵衛
五〇〇八	染絣用	同　島村　茂左衛門
五〇〇九	廣告利用表紙付吸汁紙	三重縣　野呂　織一
五〇一〇	鱗毛卷取器	福島縣　坂本　倉吉
五〇一一	安全水泳練習場	東京府　山本　鐘聲 長野縣　植松　市太郎
五〇一二	「ハットピン」	東京府　中村　甚之輔
五〇一三	花輪掛	同　藤井　貞爾
五〇一四	提具兼用筆架	大阪府　篠　鶴松
五〇一五	都下駄	東京府　服部　信次
五〇一六	岩垂式改良桑葉露取器	長野縣　岩垂　半次
五〇一七	木底靴	大阪府　天川　佐兵衛
五〇一八	包絲製造機	京都府　吉岡　常七 品川　長吉
五〇一九	絣絲捺染機ノ裝置	廣島縣　滝野　榮吉
五〇二〇	筆架	大阪府　篠　鶴松

〇衛生

〇傳染病患者　去月二十六日ヨリ同三十一日ニ至ル赤痢、腸窒扶斯、痘瘡患者及死亡者數左ノ如シ（△印ハ報告未著）（内務省）

道府縣		赤痢 患者	赤痢 死者	赤痢 本年初以來ノ累計 患者	赤痢 本年初以來ノ累計 死者	腸窒扶斯 患者	腸窒扶斯 死者	腸窒扶斯 本年初以來ノ累計 患者	腸窒扶斯 本年初以來ノ累計 死者	痘瘡 患者	痘瘡 死者	痘瘡 本年初以來ノ累計 患者	痘瘡 本年初以來ノ累計 死者
北海道	區	△		—	二	—	—	七	三	—	—	—	—
	郡	△		—	二	二	一	七三	一八	—	—	—	—
東京	市	—	—	一三	二	一五	八	一七六	四一	—	—	—	—
	郡	—	—	二	—	二	—	三九	一一	—	—	—	—
京都	市	△		六	一	五	二	六〇	二一	—	—	—	—
	郡	△		—	—	六	二	三六	一三	—	—	—	—
大阪	市	—	—	七	三	三	二	五三	二四	—	—	—	—
	郡	—	—	—	—	三	—	一九	四	—	—	—	—
神奈川	市	一	—	五	—	五	一	三六	一一	—	—	—	—
	郡	—	—	三	—	一	—	二六	五	—	—	—	—
兵庫	市	—	—	一一	二	—	—	三九	五	—	—	—	—
	郡	—	—	三	二	—	—	一七	六	—	—	—	—
長崎	市	—	—	—	—	二	—	三	九	—	—	—	—
	郡	—	—	七	三	一	—	一九	七	—	—	—	—
新潟	市	一	—	二	一	—	—	三	一	—	—	—	—
	郡	—	—	—	—	七	—	一〇八	二四	—	—	—	—
埼玉	郡	—	—	三五	二	二	—	七六	三	—	—	—	—
群馬	市	—	—	一	—	—	—	一三	三	—	—	—	—
	郡	—	—	一	—	—	—	三〇	一〇	—	—	—	—
千葉	郡	△		一	一	—	—	三〇	二	—	—	—	—
茨城	市	△		—	—	△		四一	九	—	—	—	—
	郡	△		—	二	△		三一	六	—	—	—	—
栃木	市	△		—	—	—	—	一五	四	—	—	—	—
	郡	△		一	—	二	一	七五	二三	—	—	—	—
奈良	市	△		—	—	△		九	三	—	—	—	—
	郡	△		一	一	△		二一	七	—	—	—	—
三重	市	△		一	—	—	—	五	—	—	—	—	—
	郡	△		二	二	—	—	六	三	—	—	—	—
愛知	市	—	—	一	—	—	—	九	三	—	—	—	—
	郡	二	—	四	—	一	一	二三	六	—	—	—	—
靜岡	市	—	—	—	—	一	—	五	一	—	—	—	—
	郡	一	—	二	—	一	二	六七	一七	—	—	—	—
山梨	市	△		一	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	郡	△		—	—	—	—	七	三	—	—	—	—
滋賀	市	△		—	—	—	—	一	—	—	—	—	—
	郡	△		—	—	—	一	一二	三	—	—	—	—
岐阜	市	△		—	—	一	—	四	—	—	—	—	—
	郡	△		三	一	三	—	二二	六	—	—	—	—
長野	市	—	—	—	—	二	一	八	四	—	—	—	—
	郡	一	—	三	—	五	一	七二	一六	—	—	—	—
宮城	市	—	—	—	—	—	—	一七	四	—	—	—	—
	郡	—	—	—	—	一	—	五四	一五	—	—	—	—
福島	市	△		—	—	△		八	四	—	—	—	—
	郡	△		二	—	△		五六	二〇	—	—	—	—
岩手	市	△		—	—	△		一	—	—	—	—	—
	郡	△		一	—	△		二六	六	—	—	—	—
青森	市	—	—	四	二	—	—	一〇	三	—	—	—	—
	郡	一	—	一	一	—	—	二五	九	—	—	—	—
山形	市	△		—	—	—	—	七	五	—	—	—	—
	郡	△		六	二	二	一	七八	一八	—	—	—	—
秋田	市	△		—	—	一	一	七	二	—	—	—	—
	郡	△		二	一	四	—	七五	一四	—	—	—	—
福井	市	一	—	一	—	△		一	—	—	—	—	—
	郡	—	—	—	—	△		—	—	—	—	—	—
石川	市	△		—	—	—	—	一	—	—	—	—	—
	郡	△		—	—	一	一	一四	五	—	—	—	—
富山	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	郡	—	—	—	—	—	—	三	—	—	—	—	—
鳥取	市	△		—	—	—	—	三三	三	—	—	—	—
	郡	△		—	—	一	—	二七	七	—	—	—	—
島根	市	△		—	—	—	—	二	—	—	—	—	—
	郡	△		一	—	—	—	一六	五	—	—	—	—
岡山	市	—	—	二	—	一	—	八	二	—	—	—	—
	郡	—	—	五	—	—	—	二四	五	—	—	—	—
廣島	市	—	—	三	—	三	一	二四	一〇	—	—	—	—
	郡	—	—	—	—	二	—	三六	一〇	—	—	—	—

第7137号　本文

山口	〃		｜	｜	｜	｜		一	三	一	｜	｜	｜	｜	｜
	〃		｜	｜	二	二		｜	｜	四〇	三	｜	｜	｜	｜
和歌山	〃				｜	｜		｜	｜	七	三	｜	｜	｜	｜
	〃	△			｜	｜		｜	｜	八	｜	｜	｜	｜	｜
德島	〃				｜	｜				｜	｜	｜	｜	｜	｜
	〃	△			｜	｜	△			一	一	｜	｜	｜	｜
香川	〃				｜	｜		｜	｜	一	｜	｜	｜	｜	｜
	〃	△			｜	｜		二	｜	一五	四	｜	｜	｜	｜
愛媛	〃				一	一		｜	｜	三三	七	｜	｜	｜	｜
	〃	△			一	｜		一	｜	二八	九	｜	｜	｜	｜
高知	〃				｜	｜				四	一	｜	｜	｜	｜
	〃	△			｜	｜	△			一〇	二	｜	｜	｜	｜
福岡	〃				｜	｜		四	一	四七	九	｜	｜	｜	｜
	〃	△			｜	｜		三四	四	二五〇	四九	｜	｜	一	｜
大分	郡	△			｜	｜		一	｜	一四	二	｜	｜	一	｜
佐賀	市		｜	｜	｜	｜				二	一	｜	｜	｜	｜
	郡		｜	｜	｜	｜	△			七	一	｜	｜	六	一
熊本	〃		｜	｜	｜	｜		六	二	三四	一三	｜	｜	｜	｜
	〃		｜	｜	六	四		六	二	九一	二八	｜	｜	｜	｜
宮崎	郡	△			｜	｜	△			九	一	｜	｜	｜	｜
鹿兒島	市				｜	｜				｜	｜	｜	｜	｜	｜
	郡	△			｜	｜	△			一	｜	｜	｜	｜	｜
沖繩	區				｜	｜		｜	｜	五	一	｜	｜	｜	｜
	郡	△			｜	｜		｜	｜	一	｜	｜	｜	｜	｜
合計			八	一	一五三	四〇		一四一	三九	三、四六五	六六六	｜	｜	八	一

○臺灣「ペスト」患者　臺灣島ニ於ケル本月二日ヨリ同八日ニ終ル一週間内ノ「ペスト」患者ハ臺北廳四十二、鳳山廳三十五、臺南廳三、鹽水港廳七、嘉義廳五ニシテ本年初發以來ノ患者累計七百七十ナリ（内務省）

○雜事

○移民取扱營業讓受許可　明治移民合資會社業務擔當社員山内榮作外六人ヨリ移民取扱人村山小次郎ノ營業讓受ヲ出願セシニ依リ本月十二日許可セリ（外務省）

○移民業務代理人解職及出張所廢滅　移民取扱人村山小次郎ハ其營業權ヲ明治移民合資會社ニ讓渡セルヲ以テ同人業務代理人トシテ認可セル成松壽七及熊本縣下益城郡中山村大字中郡千百十番地ニ設置セル村山小次郎出張所ハ本月十二日以降自然解職廢滅セリ（外務省）

○移民業務代理許可　明治移民合資會社業務擔當社員村山小次郎ヨリ出願ノ熊本縣士族遠山喜藏ヲシテ内地ニ於テ業務代理ヲ爲サシムルノ件本月十二日許可セリ（外務省）

○在外公館報告

○上海傳染病病況　上海ニ於ケル傳染病病況ニ付キ同地駐在總領事永瀧久吉ヨリ本月九日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ　本月十日本欄内參看（外務省）

四月一日ヨリ七日ニ至ル一週間當各國居留地内ニ於ケル傳染病ニ關シ衛生局長ヨリ左ノ通通知アリ

病名	清國人五十二萬人ニ對スル死亡數
天然痘	一九
實布垤利亞	二
猩紅熱	一
結核	三

各種死者數ハ外國人四、清國人百八十四ナリ

○廣東生絲市況　廣東ニ於ケル生絲市況ニ付キ同地駐在領事上野專一ヨリ本月四日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ　本月六日本欄内參看（外務省）

自三月十七日
至四月一日

本期ハ爲替相場ノ下落ニ依リ歐羅巴ヨリ注文續々トシテ顯レ市況頗ル活氣ヲ呈シ五、六造ノ殘荷五六百捆ハ高値ヲ以テ賣買ヲ了シ目下在荷絶無ト爲レリ今古絲ノ最近賣買相場ヲ擧クレハ左ノ如シ

		弗			
廣純昌	自一一 至一三	一、二四〇	Best 3	自一一 至一三	九四五
廣純貞	自一三 至一五			自一三 至一五	
昌興	自一三 至一五	一、一七五		自一四 至一八	

又頭繰亭ノ一一乃至一三及同等品ニ對シ本月一日千二百五十弗ニテ注文アリシモ是亦在荷絶無ナリキ新絲ニ對シ既ニ約三千捆内外ノ取引契約アリタレトモ昨今ハ一週間前ニ比スレハ注文尠キカ如シ而シテ清商側ハ一般ニ申込ヲ爲セシ者ナク前記ノ契約高ハ八月ノ末マテニ荷物ノ授受ヲ了スル約定ニテ注文セル或ル投機者ノ手ニ屬スルモノナリ

本月一日左ノ價格ニテ新絲ニ對スル注文アリタリ

		弗			弗
廣純昌形 Grand 1er. Ordre	自一一 至一三 / 自一三 至一五	一、一一〇	裕怡倫形 合經和 Best/Bon 2e. Ordre	自一八 至二〇 / 自二〇 至二四	九五〇
永和倫形 Grand 1er. Ordre	自一一 至一三 / 自一三 至一五	一、〇六〇	Best 3e. Ordre	自一三 至一五 / 自一四 至一八	九〇〇

而シテ目下ノ處ニテハ清商ハ前記ノ價格ニ於テ取引ニ應スル者ナカルヘシ新生絲ニ對スル紐育トノ取引ハ廣東側ヨリノ申出ニ對シ價格上折合ハサリシモ只巧經綸及廣和興形 Extra Extra A 一四乃至一六ニ對シ千七十五弗位ニテ二百乃至三百捆ノ契約アリタリ

○觀象

○全國氣象　四月十二日

區	測候所	氣壓 午前六時	氣壓 八時間差	溫度 午前六時	溫度 最高	溫度 最低	風 風向	風 風力	雨量	天氣
一	恆春	七五八•九	−一•四	二三•五	二九•〇	二二•六	南西	一	｜	快晴
	臺東	七五九•一	−二•二	二二•一	二八•六	一九•五	北西	二	一〇	雨
	臺南	七五九•二	−一•二	一八•八	二九•七	一八•四	北東	一	｜	快晴
	澎湖島	七五八•五	−一•三	二〇•二	二四•九	一九•一	｜	〇	｜	快晴
	臺中	七五九•三	−一•四	一七•七	二七•八	一六•一	｜	〇	｜	快晴
	臺北	七五九•〇	−一•五	一八•〇	三〇•九	一六•二	｜	〇	｜	快晴
	石垣島	七五九•七	−二•〇	一九•八	二九•三	一七•九	南東	一	｜	快晴
	那覇	七六〇•七	−一•八	一六•〇	二三•三	一七•五	｜	〇	｜	曇
	名瀬	七六一•五	−一•一	二三•四	二三•四	一四•三	南	一	｜	快晴
二	佐多岬	七六一•七	−一•六	一五•六	二二•一	一四•〇	北西	一	｜	快晴
	都井岬	七六一•〇	−一•〇	一四•六	二三•七	一三•六	東	一	｜	快晴
	鹿兒島	七六一•七	−〇•八	一一•六	二一•六	一三•一	北東	一	｜	快晴
	宮崎	七六一•五	−〇•五	八•五	｜	｜	西	一	｜	快晴
	熊本	七六一•三	−一•二	八•〇	二一•六	一〇•六	｜	〇	｜	快晴
	足摺	七六一•七	+〇•一	一六•四	二一•〇	一三•八	北西	一	｜	快晴
	高知	七六一•四	+〇•一	八•七	二四•〇	一一•六	西	一	｜	曇
	德島	七六一•八	+〇•七	八•八	二一•〇	九•六	北	一	｜	快晴
	和歌山	七六一•五	−〇•三	七•七	二〇•一	九•九	東	二	｜	快晴
	日御碕	七六〇•九	−〇•六	一一•二	一八•二	一三•七	北	二	｜	快晴
	潮岬	七六〇•三	+〇•八	一三•六	二〇•三	一五•七	｜	〇	｜	快晴
三	大分	七六一•二	−〇•三	七•〇	二三•三	一一•〇	｜	〇	｜	快晴
	松山	七六一•六	−〇•五	七•八	一九•四	八•八	南東	一	四	快晴
	多度津	七六一•四	−〇•二	七•一	一九•七	一〇•二	南	二	｜	快晴
	廣島	七六一•九	+〇•一	七•一	二一•二	九•一	北	一	｜	晴
	呉	七六一•八	+〇•一	七•九	二二•六	一〇•六	｜	〇	｜	曇
	岡山	七六一•八	+〇•一	六•七	二一•〇	一一•五	北	一	｜	快晴
	神戸	七六一•六	+〇•六	八•五	二〇•八	九•九	北	一	｜	快晴
	大阪	七六一•八	+〇•七	七•一	二〇•〇	一〇•二	｜	〇		快晴
	京都	七六二•二	+〇•四	三•七	二〇•三	八•〇	｜	〇	｜	曇
	八木	七六二•三	+〇•七	五•四	一八•九	九•二	｜	〇	一	快晴
四	大瀬崎	七六〇•五	−二•五	一二•九	一七•三	一〇•五	南	三	｜	晴
	長崎	七六一•二	−一•四	一〇•六	一八•七	一〇•四	｜	〇	｜	晴
	佐世保	七六一•三	−一•三	九•一	二二•〇	一〇•八	西	一	｜	快晴
	佐賀	七六一•五	−一•〇	八•三	二一•九	一一•四	｜	〇	｜	晴
	福岡	七六一•五	−〇•九	八•〇	一九•四	九•三	南	一	｜	晴
	嚴原	七六〇•三	−〇•五	九•三	二二•二	九•八	｜	〇	｜	曇
	下關	七六一•二	−〇•四	一〇•八	一七•三	一三•一	東	三	｜	快晴
	濱田	七六〇•七	−〇•六	七•九	一六•五	九•八	東	二	｜	曇
	境	七六〇•四	−一•一	七•〇	一七•〇	一一•六	｜	〇	｜	快晴
	西郷	七六〇•六	−〇•六	一二•〇	一六•三	一一•五	東	一	｜	晴
	經ケ岬	七六〇•七	−〇•四	一〇•二	一四•四	九•四	南	一	｜	晴
	舞鶴	七六一•八	+〇•一	六•二	一七•二	一〇•七	｜	〇	｜	霧
五	波切	七六〇•四	+一•〇	一一•〇	一九•三	一二•六	｜	〇	二	晴
	津	七六〇•八	+〇•三	九•六	一七•一	一〇•四	北西	三		快晴
	岐阜	七六一•〇	+〇•八	六•八	一六•九	一〇•九	｜	〇	｜	晴
	名古屋	七六〇•七	+〇•五	七•〇	一七•一	九•七	北西	一	三五	晴
	濱松	七五九•二	+一•五	一〇•四	一七•三	一一•七	西	三		晴
	長津呂	七五八•三	+二•〇	一三•〇	一七•五	一三•五	北西	二	｜	晴
	沼津	七五八•〇	+二•〇	六•八	二三•〇	一〇•九	東	二	一	曇
	横須賀	七五八•四	+二•四	八•四	二一•三	一一•四	｜	〇	二	快晴
	横濱	七五八•〇	+二•〇	六•九	一六•六	九•六	｜	〇	二	晴
	東京	七五七•九	+二•三	一一•三	一七•九	一〇•八	北西	三	四	晴
	熊谷	七五八•一	+一•五	一〇•八	一八•〇	一一•三	北西	三	一七	快晴
	布良	七五七•九	+二•二	一三•三	一九•一	一三•六	東	一	｜	晴
	銚子	七五七•九	+二•七	八•二	一六•七	九•四	｜	〇	一八	快晴
	八丈島	七五八•五	+〇•六	一四•一	一八•九	一四•八	西	五	｜	曇
	父島	七六〇•七	−〇•四	一八•九	二四•九	一五•八	西	一	一	曇
六	高山	七六三•二	+一•六	四•〇	二二•三	六•三	西	二	｜	曇
	飯田	七六二•二	+二•六	二•四	一五•四	六•八	｜	〇	二	快晴
	松本	七六二•五	+三•〇	一•〇	一五•四	四•五	｜	〇	｜	快晴
	長野	七六一•六	+二•〇	四•四	一六•四	六•七	｜	〇	｜	曇
	甲府	七五九•九	+二•九	四•四	一九•一	一〇•八	｜	〇	｜	快晴
	前橋	七五八•七	+二•九	一〇•八	一八•〇	一〇•三	北西	四	一	快晴
	足尾	七五七•七	+二•六	八•二	一四•二	六•八	北	二	一	快晴
	宇都宮	七五八•一	+二•八	三•四	一九•四	八•二	｜	〇	一	快晴
	福島	七五六•七	+一•四	九•九	一六•四	八•七	北西	二	四	曇

區	測候所	氣壓 午前六時	氣壓 八時間差	溫度 午前六時	溫度 最高	溫度 最低	風 風向	風 風力	雨量	天氣
七	彦根	七六一•六	〇•〇	六•〇	[illegible]	九•二	｜	〇	六	快晴
	福井	七六二•五	+〇•二	六•六	一三•〇	八•六	南	一	四	曇
	金澤	七六一•二	−〇•一	七•〇	一四•〇	九•〇	｜	〇	六	曇
	皆月	七六〇•三	−〇•〇	七•九	一三•七	七•三	南西	三	五	曇
	伏木	七六〇•九	−〇•三	八•六	一三•四	九•一	南西	一	三	曇
	新潟	七六〇•七	+一•三	八•〇	一四•一	七•八	南西	二	一	曇
	山形	七五八•〇	+一•三	七•五	一四•二	六•五	南	一	二	曇
	加茂	七五九•八	+一•九	八•二	一三•九	六•九	北	五	三	曇
	秋田	七五八•五	+一•八	五•九	一〇•二	六•〇	西	四	三	雨
八	水戸	七五七•六	+二•八	五•四	一八•九	六•九	北	一	六	快晴
	金山	七五六•九	+二•九	九•八	一六•一	九•〇	北	一	二	晴
	金華山	七五六•一	+二•七	八•六	一四•五	九•一	北西	四	二	晴
	石卷	七五六•七	+二•五	八•一	一四•八	七•一	北西	五	九	晴
	水澤	七五六•三	+三•〇	六•二	一三•三	七•四	北西	四	二一	晴
	宮古	七五三•三	+二•〇	八•〇	一四•一	八•六	西	三	三	晴
九	[illegible]	七五五•〇	+三•五	四•四	八•一	五•四	北西	五	一四	曇
	青森	七五五•七	+三•五	五•四	一〇•五	五•六	西	三	二一	曇
	函館	七五三•二	+三•一	五•〇	七•九	四•四	西	四	一七	曇
	壽都	七五四•九	+三•一	三•三	八•五	四•一	北西	五	二〇	雨
	札幌	七五〇•九	+〇•八	三•〇	八•八	四•三	北西	四	一〇	雨
	上川	七五〇•三	−〇•二	二•八	八•〇	一•五	南西	一	一〇	雨
	十勝	七五〇•二	〇•〇	三•八	七•二	一•一	｜	〇	一七	雨
	宗谷	七四八•九	+三•五	二•一	一三•六	〇•八	東	四	二三	雨
	網走	七四九•一	−二•二	四•七	一〇•五	二•四	南東	一	｜	｜
一〇	釧路	七五〇•六	−〇•九	三•八	八•八	二•六	｜	〇	八五	曇
	根室	七五一•三	−二•五	三•八	五•二	一•五	南東	三	一六	雨
	紗那	七五一•三	−三•一	一•〇	七•〇	〇•一	南東	五	二	雨
	コルサコフ	七五一•八	−三•七	一•五	四•三	[illegible]	北東	五	四四	雨
	釜山	七五九•七	−一•三	一四•四	二〇•三	七•一	西	三	｜	雨
	木浦	七五九•二	−一•九	九•九	一九•二	六•三	南	一	｜	曇
	仁川	七六〇•〇	−一•二	一〇•二	一五•四	六•三	東	一	一〇	曇
	鎭南浦	七五九•〇	−〇•五	九•五	二一•五	三•〇	東	二	｜	曇
	元山	七五七•九	+〇•四	一四•〇	二三•六	七•一	｜	〇	｜	曇
	城津	七五八•七	+〇•七	六•二	八•〇	三•五	南西	一	｜	曇
	龍巖浦	七五九•二	+〇•二	七•八	一七•五	二•二	北東	二	｜	曇
	大連	七五七•九	+〇•〇	六•六	一〇•七	五•三	東	三	一	雨
	旅順	七五六•七	+一•一	一〇•四	一五•三	五•七	東	三	｜	曇
	營口	七五九•二	+〇•六	八•六	一七•五	一•六	北	四	｜	曇
	奉天	七六一•七	+二•七	三•九	二三•七	〇•六	北	三	｜	曇
前日	天津	七五三•三	｜	一三	｜	｜	南	三	｜	快晴
	芝罘	七五七•三	｜	一七	｜	｜	南	五	｜	快晴
	杭州	七六〇•三	｜	一四	｜	｜	｜	〇	｜	曇
	上海	七六一•〇	｜	一〇	｜	｜	南	一	｜	霧
	南京	七六二•二	｜	一三	｜	｜	南	一	｜	晴
	漢口	七六一•二	｜	一四	｜	｜	南東	一	｜	快晴
	沙市	七五三•六	｜	一〇	｜	｜	南	三	｜	曇
	厦門	七六〇•二	｜	一四	｜	｜	｜	〇	｜	霧
	長沙	七五三•九	｜	一八	｜	｜	北東	一	｜	快晴
	[illegible]	五八二•四	七•二	五•六	一〇•二	五•〇	南東	三	七	快晴

○天氣概況　昨日東北地方ニ風雨ヲ起シタル低氣壓ハ北北東ニ移動シ昨夜北海道ヲ横斷シ今朝宗谷ノ東方ニ存在ス又昨朝本州南東部ニ在リシ小低氣壓ハ急速ニ發達シ雷雨ヲ伴ヒタリ四川方面ニ現ハレタル低氣壓ハ東行シ今朝楊子江ノ下流ニ達シタルモノヽ如シ九州ヨリ關東ニ至ル地方ハ比較的高氣壓ノ部ニ屬シ天氣頁好ナレトモ變化セントスル模樣アリ東北地方ハ概シテ曇天ニシテ北海道ニ於テハ雨天ナリ北西海岸ニ於テハ北西ノ風強シ

○全國天氣豫報　四月十八日天氣豫報

第一區　北又ハ東ノ風、概ネ曇但シ雨模樣アリ
第二區　北又ハ西ノ風、概ネ晴但シ雨模樣ノ所アリ
第三區　第二區ニ同シ
第四區　第二區ニ同シ
第五區　第二區ニ同シ
第六區　第二區ニ同シ
第七區　北又ハ西ノ風、概ネ曇但シ雨模樣アリ
第八區　第二區ニ同シ
第九區　第七區ニ同シ
第十區　第七區ニ同シ

○東京地方天氣豫報

四月十七日午前九時發　北ノ風、晴
四月十七日午後四時發　北又ハ西ノ風、晴

○地震　福井ノ地震報告左ノ如シ

四月十七日　午後二時三十六分五十九秒　微（感覺ナシ）

（以上中央氣象臺）

○廣告

○靖國神社合祀者遺族注意

來ル五月靖國神社合祀者及特別合祀者ノ遺族ニ告ク

一　大祭日割ハ來ル五月一日夜招魂式ヲ行ヒ同二日ヨリ同五日マテ臨時大祭トス
二　合祀者トハ戰死又ハ戰傷後死歿シタル陸海軍人軍屬等ニシテ調査未了ノタメ一昨年及昨年合祀セラレサル者、特別合祀者トハ戰役業務ニ從事シ傷痍疾病等ニ因リ死歿シタル陸海軍人軍屬等トス
三　合祀及特別合祀人名ハ本月六日、八日、九日、十日、十一日及十五日ノ官報附錄ニ告示シアリ
四　合祀者遺族及特別合祀者遺族ヘハ臨時大祭委員ヨリ參拜案内狀ヲ其本籍地又ハ寄留地ヘ向ケ發送セリ事故ノタメ不着ノ者ハ東京市麹町區靖國神社内臨時大祭委員ヘ申出アリタシ
五　遺族ニシテ轉居等ノ手續ヲ爲サスシテ本籍地又ハ寄留地ヲ離レタル者ハ其旨至急前住地ノ市區町村役場ニ通知スルヲ要ス
六　參拜遺族トシテ取扱ハルヽ者ハ合祀者及特別合祀者ト同一戸籍内ニ在ル者ニシテ陸海軍將校同相當官、市區町村長ニ於テ證明シタル者トス
七　合祀者及特別合祀者ト同一戸籍内ニ在ル者ニシテ旅行先ヨリ直ニ參拜セントスルトキハ參拜案内狀ニ其旨ヲ附記シタル證明ヲ受クルヲ要ス
八　參拜案内狀ヲ失ヒ又ハ携帶セサル者ハ遺族ノ取扱ヲ爲サヽルヲ以テ案内狀ハ必ス大切ニ携帶アリタシ
九　參拜遺族ハ左ノ地方區分ニ依リ參拜セラレタシ

五月二日　午前八時ヨリ午後三時マテ　九州、四國、山陰、山陽、北海道、臺灣
同　三日　午前八時ヨリ午後三時マテ　畿内、東山道
同　四日　正午ヨリ午後四時マテ　東海道、北陸道
同　五日　午前八時ヨリ午後二時マテ　其他ノ地方

十　參拜遺族ニハ特ニ思召ヲ以テ左ノ日取ニテ禁苑、博物館、動物園ノ拜觀ヲ差許サレ且ツ濱離宮ニ於テハ特別ヲ以テ茶菓ヲ下賜セラルヘキ筈

赤阪離宮御苑、濱離宮御苑、博物館、動物園　五月三日乃至八日ノ六日間
新宿植物御苑　五月九日、十日ノ二日間
右時刻ハ毎日午前八時ヨリ午後四時マテトス

十一　參拜遺族ハ小石川後樂園、遊就館、近衞步兵第一旅團兵營、淀橋淨水場等其他各種ノ餘興等ヲ觀覽スルコトヲ得且ツ東京勸業博覽會ヘハ金五錢ヲ以テ入場スルコトヲ得
十二　大祭餘興ノ種類ハ大角力、煙火、能樂、太神樂、里神樂、探海燈、擊劍柔術等トス
十三　參拜遺族ニ對シテハ往復トモ左記ノ汽車汽船ノ賃金ハ總テ五割引トス
但シ賃金割引切符ノ發賣期限ハ汽車ハ本月二十日ヨリ來ル五月六日、汽船ハ本月十五日ヨリ來ル五月二十五日マテトス

官設鐵道
東武鐵道株式會社　七尾鐵道株式會社　總武鐵道株式會社　成田鐵道株式會社
德島鐵道株式會社　北海道鐵道株式會社　伊豫鐵道株式會社　川越鐵道株式會社
佐野鐵道株式會社　水戸鐵道株式會社　京都鐵道株式會社　河南鐵道株式會社
上武鐵道株式會社　豐川鐵道株式會社　博多灣鐵道株式會社　九州鐵道株式會社
尾西鐵道株式會社　中國鐵道株式會社　高野鐵道株式會社　房總鐵道株式會社
南海鐵道株式會社　豆相鐵道株式會社　關西鐵道株式會社　龍崎鐵道株式會社
近江鐵道株式會社　參宮鐵道株式會社　阪鶴鐵道株式會社　上野鐵道株式會社
北越鐵道株式會社　中越鐵道株式會社
（但シ京都、博多灣、阪鶴鐵道ハ往復切符ヲ發賣セス且ツ私設會社ニテハ連絡切符ヲ發賣セサルモノアリ注意アリタシ）
日本郵船株式會社　大阪商船株式會社　關西汽船同盟本部　越佐汽船株式會社
肥後汽船株式會社　東京灣汽船株式會社　日本商船株式會社　函館汽船株式會社
尼崎伊三郎　長島商會　日本船主同盟會　廣運株式會社
東豫汽船株式會社　鹿兒島郵船株式會社　土佐商船株式會社

明治四十年四月
明治四十年五月　靖國神社臨時大祭委員

○檢定教科用圖書

師範學校音樂科用
デュエットトリオ唱歌集　伴奏附　全一冊　定價金六十五錢
明治四十年二月二十日再版發行
著作者　青森縣士族　楠美恩三郎　發行者　東京府東京市京橋區竹川町十三番地　東京府士族　白井直

中學校國語科用
中等習字教科書　全三冊　定價各金二十五錢
明治四十年一月二十日發行
著作者　京都府平民　東南家賢　發行者　東京府東京市京橋區南傳馬町一丁目十二番地　東京府平民　吉川半七
京都府京都市上京區寺町通二條南入十五番戸　京都府平民　松田庄助

右孰モ明治四十年四月十七日檢定ス

明治四十年四月　文部省

第7137号　本文

○生徒募集

明治四十年四月　金澤醫學專門學校

○貯金通帳亡失及盜難

明治四十年四月　郵便電信貯金管理所

○證券保管通帳亡失

明治四十年四月　郵便電信貯金管理所

○口座脫退

明治四十年四月　郵便電信貯金管理所

○入學者注意

明治四十年四月　東京外國語學校

○郵便局燒失

明治四十年四月　遞信省

○列車運轉時刻及行先變更

明治四十年四月　帝國鐵道廳

○貯金通帳亡失及盜難

明治四十年四月　郵便電信貯金管理所

○不能郵便物還付

明治四十年四月　統監府通信管理局

○補助航海

明治四十年四月　北海道廳

第7137号　本文

第7137号　本文

第7137号　本文

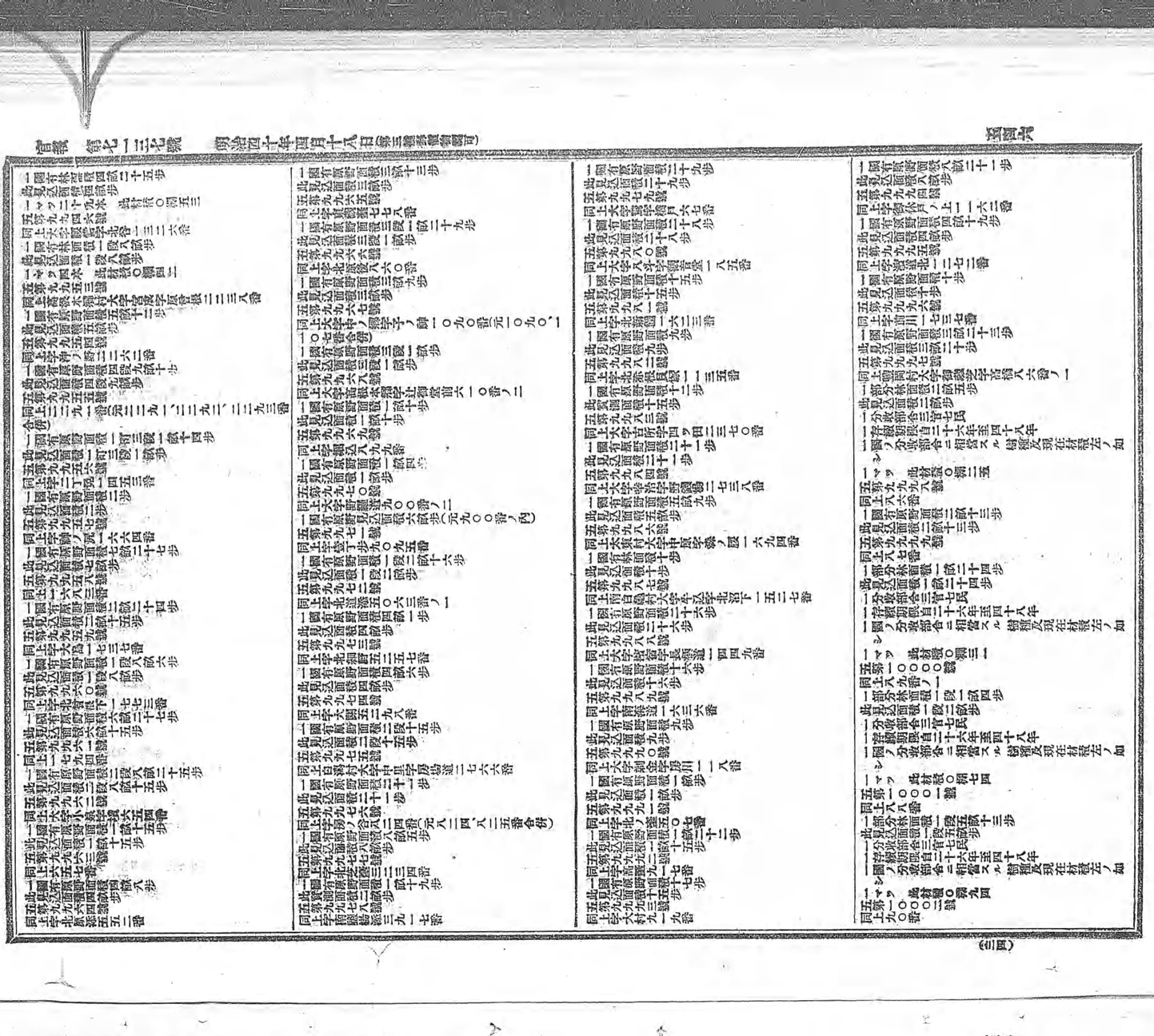
（日本）

第 7 1 3 7 号　本文

第7137号　本文

第7137号　本文

第7137号　本文



第7137号　本文

○林野實施公告中取消

明治四十年四月十八日

官林大林區署

○商業登記

東京區裁判所商品出張所

第7137号　本文

第 7137 号　本文

第7137号 本文

○華族世襲財産

東京府東京市小石川區小石川大塚上町仲町ノ内
一市街宅地合計五百五十二坪九合四勺　子爵松平定晴所有
右世襲財産ト爲シタキ旨願出テタル趣宮内大臣ヨリ達セラル依テ該財産ニ對シ故障アル者又ハ地番等承合シタキ者ハ來ル五月二十四日マテニ當廳ニ申出ツヘシ
明治四十年四月十七日　東京府

○東京郵便局外國郵便締切時限

明十九日神戸マテ汽車便送同地ヨリ博愛丸ヲ以テ上海及南清地方ヘノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局
普通	十九日午後二時	十九日午前十一時半
書留	同上	同上
小包	同日午後一時半	同上

(備考)　小包ハ清國(獨逸局所在地)宛萬國小包竝ニ威海衛、寧波宛香港小包

同日敦賀マテ汽車便送同地ヨリ「ポルチカ」號ヲ以テ浦潮斯徳經由露西亞及西伯利地方ヘノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局
普通	十九日午後九時半	十九日午後六時半
書留	同上	同上
價格表記	同日午後九時	同上

明後二十日門司マテ汽車便送同地ヨリ讃岐丸ヲ以テ上海經由歐洲、印度、海峽殖民地、香港以遠ヘノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局
普通	二十日午後七時半	二十日午後五時半
書留	同上	同上
價格表記	同上	同上
小包	同上	同上
香港爲替	同日午後四時	同日午後一時

(備考)　小包ハ清國(獨逸局所在地)埃及、歐洲(伊太利等ヲ除ク)等宛及威海衛、寧波宛香港小包

同日神戸マテ汽車便送同地ヨリ「ビール、ド、ラ、シオター」號ヲ以テ上海經由歐洲、印度、海峽殖民地、香港以遠ヘノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局
普通	二十日午後九時半	二十日午後六時半
書留	同上	同上
價格表記	同日午後九時	同上
小包	同日午後七時半	同日午後五時半
香港爲替	同日午後四時	同日午後一時

(備考)　小包ハ交趾支那、印度、埃及、濠洲、歐洲(伊太利等ヲ除ク)等宛

同日横濱マテ汽車便送同地ヨリ「チヤイナ」號ヲ以テ布哇經由歐米以遠ヘノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局	横濱局
普通	二十日午前十時半	二十日午前八時	二十日午後十二時半
書留	同日午前十時	同上	
小包	十九日午後七時	十九日午後五時	
聯合爲替	二十日午前九時半	同日午後四時	
特別爲替	十九日正午十二時	同日午前九時半	

(備考)　小包ハ布哇、北米合衆國及ポートリコ宛

○同上締切豫告

本月二十二日頃ポートランド經由、同二十五日頃タコマ經由、同二十七日頃シアトル經由、同二十七日頃布哇經由孰モ歐米ヘノ郵便物締切ノ筈
上海、香港、印度地方ヘハ毎週數回ノ差立アルニ依リ隨時差出ス方速達ヲ得ヘシ

○日本郵船株式會社汽船横濱出發表

榮城丸　明十九日未明横濱出帆狄ノ濱、函館、小樽行
山城丸　明後二十日午後四時横濱出帆本月二十四日午前十時神戸出帆上海行(神戸、門司、長崎經由)(横濱、神戸棧橋繫留)
三河丸　本月二十一日正午十二時横濱出帆四日市、神戸行
土佐丸　同二十二日午前十時横濱出帆同二十六日午前十時神戸出帆香港行(神戸、門司、上海經由)(横濱棧橋繫留)
東郷丸　同二十五日未明横濱出帆狄ノ濱、函館、小樽行
香川丸　同日午後四時横濱出帆神戸、門司、基隆、安平、打狗行(船客ヲ搭載セス)
伏木丸　同二十九日午後四時横濱出帆漢口行(大阪、神戸、門司、上海經由)(船客ヲ搭載セス)
旺洋丸　五月一日正午十二時横濱出帆仁川、大連、大沽、牛莊行(四日市、神戸、門司經由)
丹波丸(歐洲行)　同日正午十二時横濱出帆同四日午前十一時神戸出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南、コロンボ、蘇士、坡西土、馬耳塞、倫敦、安土府行(横濱棧橋繫留)

○同上神戸等出發表

博愛丸　明後二十日午前十時神戸出帆上海行(門司、長崎經由)(神戸棧橋繫留)
讃岐丸(歐洲行)　同日午前十一時神戸出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南、コロンボ、蘇士、坡西土、馬耳塞、倫敦、安土府行
上川丸　本月二十二日午前八時函館出帆同二十三日午後小樽出帆九春古丹、哥爾薩港、マウカ行
山東丸　同二十四日午前十時神戸出帆釜山、仁川、芝罘、大沽、牛莊行(門司、長崎經由)
旅順丸(米國行)　同日正午十二時神戸出帆同二十七日午後二時横濱出帆ビクトリア、シアトル行(横濱棧橋繫留)
右兩地ニ於テ桑港、タコマ、ポートランド、バンクーバー、紐育其他合衆國及歐洲各地行汽車、汽船ニ接續スルニ付各地行通船客切符及通船荷證券ヲ發行ス(米國行三等乘船申込ハ出帆當日三日前迄トス)
長門丸　同日午後二時神戸出帆大連行(宇品、門司經由)
相模丸　同二十五日午前十時神戸出帆芝罘、大沽、牛莊行(門司經由)
三池丸　同日午前十時神戸出帆孟買行(門司、香港、新嘉坡、彼南、マドラス、コロンボ經由)(船客ヲ搭載セス)
淡路丸　同二十六日午後二時神戸出帆安東縣行(宇品、門司、仁川、鎭南浦經由)
弘前丸　同二十八日午前十時神戸出帆釜山、元山、城津、浦潮斯徳行(門司、長崎經由)

臺灣航路

西京丸 毎月	神戸發正午	門司著發	基隆著
	三日	四日	七日
	十八日	十九日	二十二日

本船ハ神戸ニテ鐵道棧橋繫留ニ付キ同所ニテ切符購入御乘船ノ便アリ

毎日	青森發	函館著發	室蘭著
	午前三時	(直航)	午後三時
	午前三時	函館止メ	
	午前十時半	午後八時半	翌日午前四時半

○大阪商船株式會社汽船神戸等出發表

韓國行
群山丸　明後二十日午前十時大阪出帆同日午後三時神戸出帆門司、下關、釜山、木浦、群山、仁川行
秀　丸　同日午前十時大阪出帆同日午後三時神戸出帆門司、下關、釜山、元山行
筑後川丸　本月二十一日午前十時大阪出帆神戸、下關、博多、嚴原、釜山、馬山行

清國行
大仁丸　明後二十日正午十二時大阪出帆本月二十一日午前十時神戸出帆門司、大連行(大連ハ大棧橋ニ繫留ス)
京城丸　同日午後三時大阪出帆本月二十一日午前十時神戸出帆門司、下關、仁川、鎭南浦、安東縣行
溫州丸　本月二十一日午前九時大阪出帆同二十二日午前十時神戸出帆門司、芝罘、天津行(天津ハ居留地河岸ニ横付)(船客ヲ搭載セス)
天草丸　同二十三日正午十二時大阪出帆同二十四日午前十時神戸出帆門司、大連行(大連ハ大棧橋ニ繫留ス)
勝山丸　同日午前八時横濱出帆四日市、大阪、神戸、門司、仁川、大連行
大智丸　同二十七日午前九時大阪出帆同二十八日午前十時神戸出帆門司、芝罘、天津行(天津ハ居留地河岸ニ横付)
大義丸　同日正午十二時大阪出帆同二十八日午前十時神戸出帆門司、大連行(大連ハ大棧橋ニ繫留ス)

臺灣行
宮島丸　本月二十二日午前七時大阪出帆神戸、鹿兒島、大島、沖繩、宮古、八重山、基隆行
臺南丸　同二十三日正午十二時神戸出帆門司、基隆行
福岡丸　同日午後三時横濱出帆同二十六日正午十二時神戸出帆門司、基隆、安平、打狗行
韓國清國臺灣沖繩行船客ニシテ大阪又ハ神戸ヨリ御乘船ノ方ニハ東京横濱代理店竝ニ兩市内出札所ニテ乘船切符發賣ス